

Access Control System Net2 Version4



Paxton Access

--- User Manual ; Standard ---

Net2 Access Control V4.01

End User Licence Agreement (EULA)

IT IS IMPORTANT THAT YOU READ THIS AGREEMENT CAREFULLY

This software is written by Paxton Access Ltd, and is covered by copyright law. You must not copy or redistribute, either fully or in part, any part of the installation CD, without prior written permission from Paxton Access Ltd. Each site is required to have purchased an appropriate license for the features they are using. For a full list of the products and licenses available please contact our sales team, whose contact details are at the end of this agreement.

Please note: It is the system user's responsibility to ensure that this software is installed and used in a manner so as to comply with any relevant legislation which may apply in the territory concerned. This applies to all aspects of the application of the software, including safety and data protection laws.

If you are upgrading from Net2 V1 or V2, you should note that PIN's are now restricted to 4 digits only. If any users have been issues with PIN's of 5 or 6 digits in length, the PIN will be deleted, and a new 4 digit PIN must be entered.

There is a new 'Fire Doors' feature with Net2 V3. It should be noted that this is not a fail safe system. For this feature to work the server must be running. In the event of a PC crash, software crash or power failure, this feature will not work. Consequently local break glass or other manual over-ride mechanisms should be installed at each fire door.

For further information, visit our web site at www.paxton-access.co.uk, or contact our sales team on +44 (0)870 6080886 or sales@paxton-access.co.uk

本マニュアルに記載の各機種は仕様及び外觀等を予告なく変更することがありますのでご了承下さい。仕様の数値は動作環境により多少誤差が生じる場合があります。マニュアルと実際の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。掲載商品の取付には、配線 / 電源工事や建物への固定等の施工が必要になります。Microsoft、Windows 2000/XP は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。Intel、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標または商標です。なお、本文中では TM マークなどは明記していません。その他、本カタログに記載されている、会社名 / 製品名 / サービス名は各社が登録商標または商標として使用している場合があります、各発売元または開発メーカーの承諾なく使用することを禁じます。

本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として提供されるものであり、従って当該情報が英国 Paxton Access 社、デンマーク Milestone Systems 社、株式会社ケーティーワークショップの責務として解釈されることがあつてはなりません。英国 Paxton Access 社、デンマーク Milestone Systems 社、株式会社ケーティーワークショップは、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負いません。本マニュアルを用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。本書記載の情報は、2006 年 4 月 1 日時点のものを掲載しておりますので、ご利用時には変更されている場合もございます。また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り 2006 年 4 月 1 日現在での最新バージョンを元としています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があります、本マニュアルでの説明とは異なってしまふこともあります。ご了承下さい。

本マニュアルに記載される製品は事故・盗難等の万一の事柄を完全に防止するものではありません。万一お客様に事故・盗難等が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。保証は当社が販売した製品で製造時の不具合に起因すると思われる機能的な不具合を対象とします。システムが適切な指導の下で設置され、適切な状況の下で運用されている場合、保証の対象になります。ただしそれは特定の製品の使用回数に関する制限を受けます。当社は製品の不具合から生じるいかなる損失にも責任を負いません。当社はお客様が機器の購入時に支払った対価以上の責務を負いませんし、法的責務を除外するものではありません。

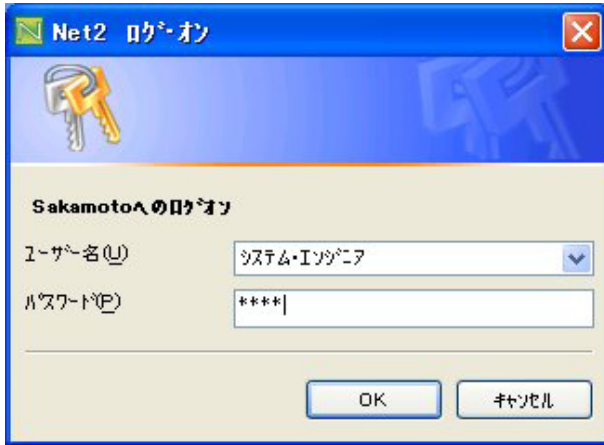
目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. はじめに | 4 |
| 2. 運用ソフトの立ち上げ | 4 |
| 3. 各コントローラーの設定 | 4 |
| 4. タイムゾーンの設定・登録 | 8 |
| 5. アクセスレベルの設定・登録 | 9 |
| 5-1. アクセスレベルの新規登録方法 | 10 |
| 5-2. アクセスレベルの設定方法 | 10 |
| 6. ユーザーの設定・登録 | 11 |
| 6-1. ユーザー画面 | 11 |
| 6-2. ユーザーの登録 | 12 |
| 6-3. ユーザーの検索 | 12 |
| 6-4. ユーザーカードの削除方法 | 13 |
| 6-5. ユーザーカードの紛失カード処理 | 13 |
| 7. テンキーの設定方法 | 14 |
| 7-1. 共有番号の設定 | 14 |
| 7-2. ID 番号の設定 | 14 |
| 8. イベント（履歴情報）の見方 | 15 |
| 9. オペレーターの登録 | 16 |
| 10. レポートの作成 | 17 |
| 11. カメラの設定方法 | 18 |
| 12. サイトグラフィックの設定 | 19 |
| 13. 侵入アラームの設定 | 20 |
| 14. Milestone XProtect ソフトウェアとの連動 | 22 |
| 15. オプションの設定 | 24 |
| 16. データのインポート・エクスポート | 25 |
| 16-1. インポート | 25 |
| 16-2. エクスポート | 26 |
| 16-3. イベント（履歴）データの取り出し | 28 |
| 17. バックアップ | 28 |
| 18. クライアントパソコンからの管理 | 29 |
| 19. アプリケーション・ソフトの再インストール | 30 |
| プロフェッショナル版の機能について | 31 |
| Net2 テクニカルデータ | 32 |
| 参考資料 | 33 |

1. はじめに

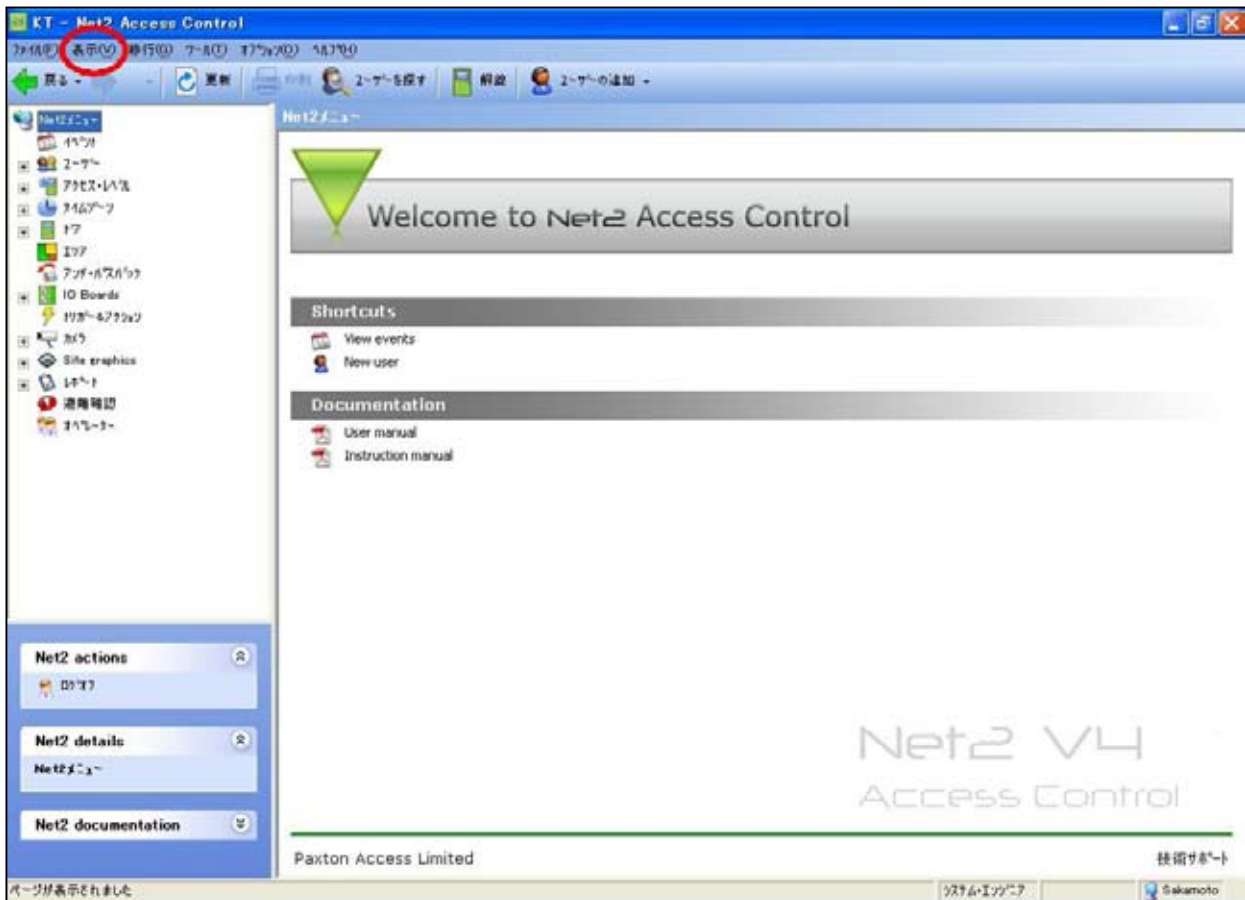
当ユーザーマニュアルは各コントロールユニット・カードリーダー・電気錠等のシステム機器の設置・接続及び運用ソフトのインストールが完了したあと、パソコン上の各種設定作業及びその運用について解説したものです。ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

2. 運用ソフトの立ち上げ

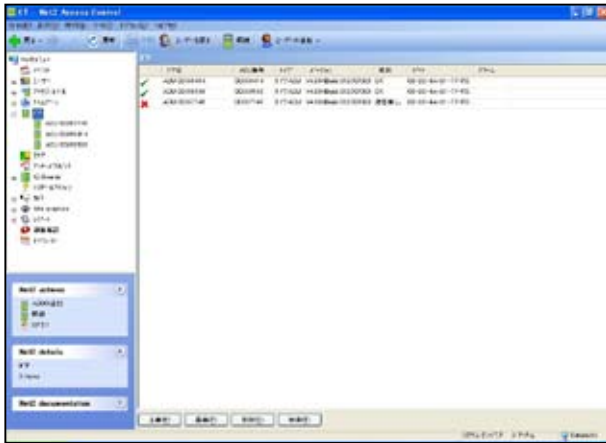


Net2 運用ソフト『Net2 Access Control』を起動します。
左図のような“ログオン”画面が表示されますので、パスワードを入力してください。パスワードの初期設定値は配布するインストール CD のケースに記載されております。
また、パスワードの変更・新規登録は後述『オペレーターの登録』をご参照ください。

下図のような画面が表示されます。設定作業はツリー形式で各項目を選択して行います。ツリー形式で表示させたい項目がある場合、上部『表示(V)』メニューより選択してください。



3. 各コントローラーの設定

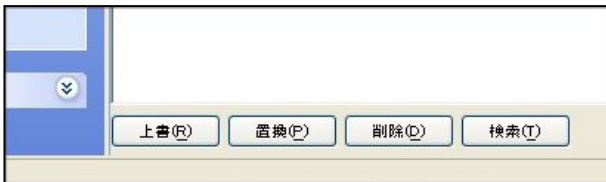


ツリーから『ドア』を選択します。左図のような画面が表示されます。

各コントローラーをアプリケーション・ソフトが認識している場合、緑色のチェックマークが表示されています。何らかの理由で認識されていない場合、赤色の×マークが表示されます。(下図参照) また、現状欄に『OK』『返答なし。』と表示されます。



各ボタンの機能



画面下に左図のようなボタンが表示されています。各ボタンの機能について解説します。

上書 (R)

何らかの理由によりパソコン上データベース情報が各 ACU (コントロール・ユニット) 上のデータベース情報と違う場合、パソコン上の最新の設定・データを各 ACU(コントロール・ユニット) に強制的に上書きします。

置換 (P)

現在のデータベース情報をそのまま変更せずに、接続されている ACU を新しく取り替える場合使用します。置換 ボタンをクリックするとウィザードが開始されます。ウィザードの指示に従って、各項目を入力してください。

削除 (D)

接続されている ACU をデータベース上から削除するとき使用します。削除しますとこのコントローラーに関連する全ての情報がシステムから削除されます。

検索 (T)

新しくシステムを導入した場合、もしくは ACU が追加設置された場合各 ACU を検出し新しくデータベースに追加登録したい場合に使用します。



また、パソコンの操作によりドアを解錠したい場合、左上図または左下図の『解錠』をクリックします。ウィザードに従い、解錠したいドアを選択してください。

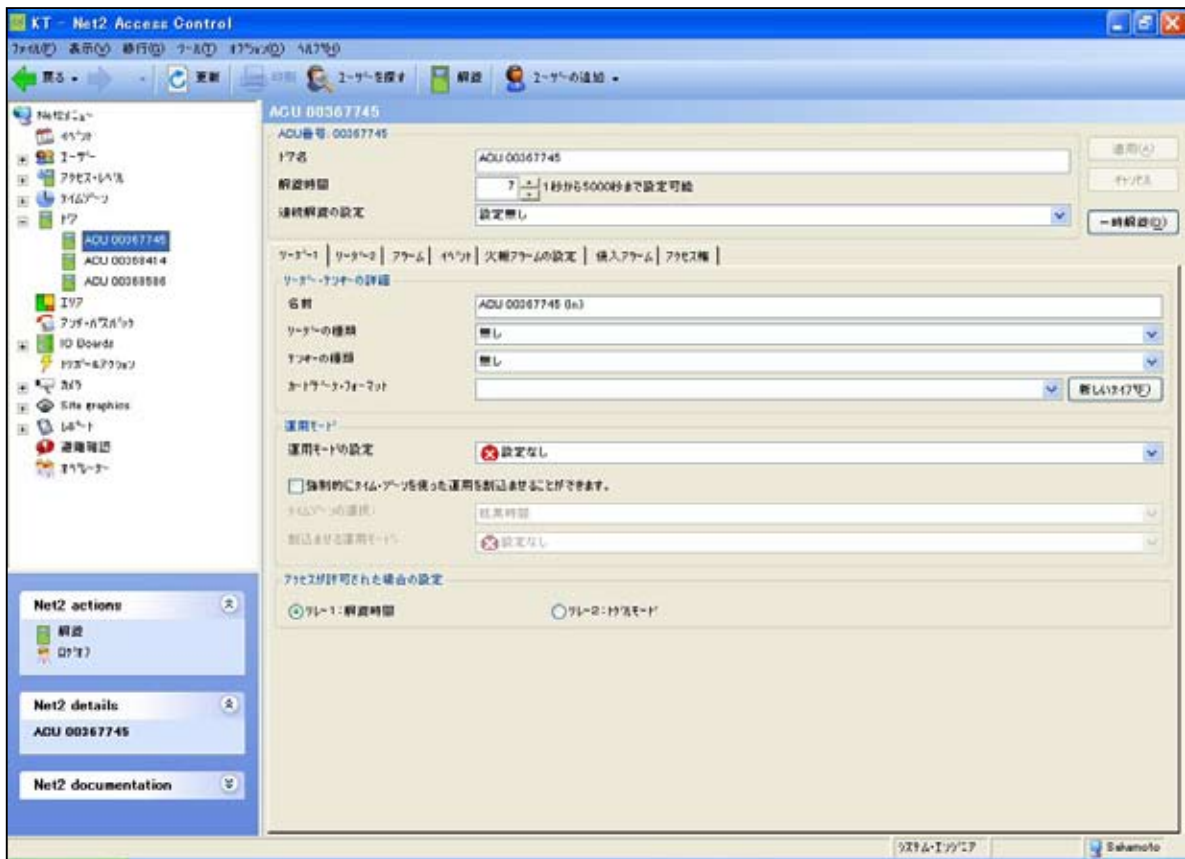
右の『ACU の追加』はコントローラーを追加したい場合に使用します。例えば、「設置してあるが、まだパソコンに認識させていない時」等に使用します。コントローラーのシリアル番号を確認し入力してください。正確なシリアル番号でないと認識されません。

また、認識が完了するまで、多少時間がかかることがあります。



ドア名：各コントローラーに名前をつけることができます。
 解錠時間：ドアを解錠する場合、電気錠を何秒間解錠するかを設定することができます。

リーダー 1：リーダー 1 に接続されているリーダー / テンキーの設定です。
 リーダー 2：リーダー 2 に接続されているリーダー / テンキーの設定です。
 アラーム：各アラームの設定ができます。
 共有番号：テンキーを選択した場合のみ使用できます。
 イベント：選択したドアに対してイベントを参照することができます。
 アクセス権：選択したドアに対してアクセス権を確認することができます。
 *その他の項目はプロフェッショナル（有料版）で設定できる項目です。



アクセスが許可されたときの設定：リレーは 2 個装備しています。リレー 1 は設定された時間出力し、自動的に復帰します。リレー 2 はトグルモード用です。1 度有効な信号を送ると再度信号が提示されるまで出力を継続します。機械警備のスイッチの ON/OFF として活用できます。

運用モードの設定：通常のカードリーダーとして使用するか管理用リーダーとして使用するか等の選択ができます。タイムゾーンを使った運用モード：タイムゾーンを使い、リーダーの運用モードをある時間帯だけ変更して使うことができます。

リーダーの種類：Paxton 製・クロック&データ型・ウィーガンド型を選択できます。
 テンキーの種類：Paxton 製のみ選択できます。
 カードデータ・フォーマット：PAXTON リーダー選択時、初期値・PAXTON カード・銀行カード・最初の 8 桁
 クロック&データ型リーダー選択時、初期値・PAXTON カード・銀行カード・最初の 8 桁
 ウィーガンド型リーダー選択時、ウィーガンド 26 ビット をそれぞれ選択できます。
 また、新しいタイプとして登録することも可能です。

アラームの設定：ドアのこじ開け、ドアの閉め忘れ等の設定を行うことができます。

ドアのこじ開け：ドアがこじ開けられた場合、アラーム出力します。

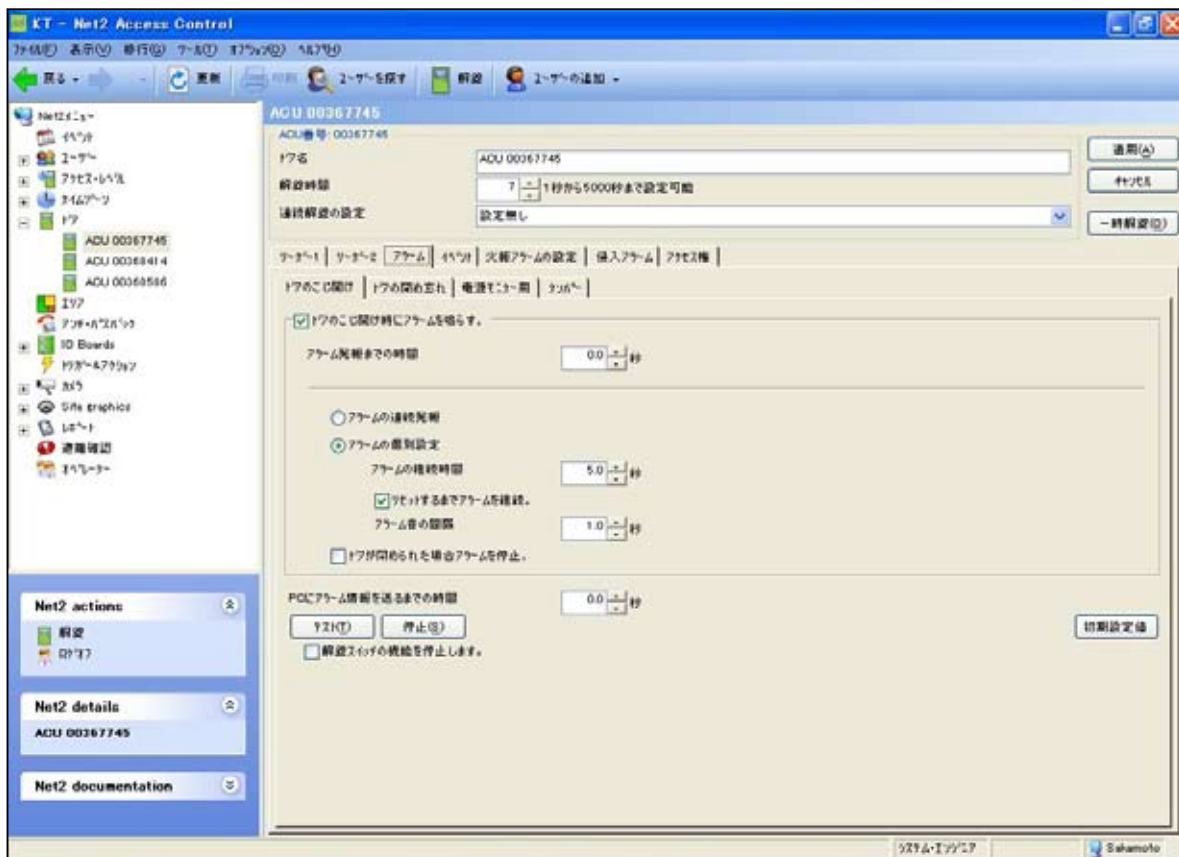
電氣的に解除された場合以外すべてが『こじ開け』と判断されます。

例えば、ドアノブやサムターンを回して退室した場合も『こじ開け』と見なされます。

ドアの閉め忘れ：カード等によりドアが開けられ、閉め忘れの場合にアラーム出力します。

電源モニター：電源がダウンした場合、アラーム出力します。

その他タンパー：各種タンパー接続のタンパー情報をアラーム出力します。



アラームは次の項目について設定します。

- ・ 警報情報の入力後、何秒後に警報情報を出力するか。
- ・ アラームをパソコン側からリセットするまで警報を鳴らし続けるか。時間により自動的に停止させるか。
- ・ アラームを「ドアが閉められた場合停止」するとき、チェックマークを入れてください。
- ・ 何秒後に警報情報をパソコンに送るか。

等を設定します。

電子ブザー等をコントローラーに接続すれば、警報として鳴らすことが出来ます。

4. タイムゾーンの設定・登録

入室に関する許可時間帯の設定。各ドアに対して入室を許可する時間帯を設定します。アクセスレベルを設定するときにタイムゾーンは必ず使用します。

次の3つのタイムゾーンは初期登録されています。

- ・ 設定なし：一切の権利なし
- ・ 毎日 24 時間：すべての時間帯について権利あり
- ・ 就業時間：9：00～17：30

「設定なし」と「毎日 24 時間」は設定を変更することは出来ません。また、必要なタイムゾーンは別途追加作成してください。

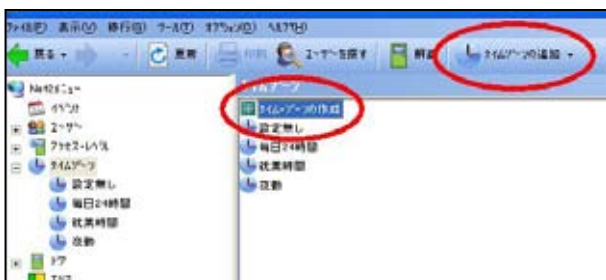
タイムゾーンは全部で 64 種類登録することが出来ます。

(例1) 就業時間：月曜から金曜までの 9：00～17：30 までの設定



入室を許可する時間帯は緑の帯で表示されます。
この例では、月曜日から金曜日までの 9：00 から 17：30 までの入室権利です。
祝日の設定は画面下部のブルーの帯を使い設定します。

(例2) 夜勤：月曜から金曜までの 18：00～24：00 までを新しく追加登録する。



タイムゾーンの作成をダブルクリックするかタイムゾーンの追加をクリックしてください。

下記ボックスが表示されますので、任意のタイムゾーン名を入力してください。



設定したい時間帯をマウスで選択します。
左記の例では、月曜日から金曜日までの 18：00 から 24：00 までの入室権限です。

祝日の設定は画面下部のブルーの帯を使い設定します。

5. アクセスレベルの設定・登録

個々人に与える入室権限を事前にパターン化（アクセスレベル）し、それを各々に適用することで、入室権限を人ごとに設定することなく効率よく設定することが出来ます。

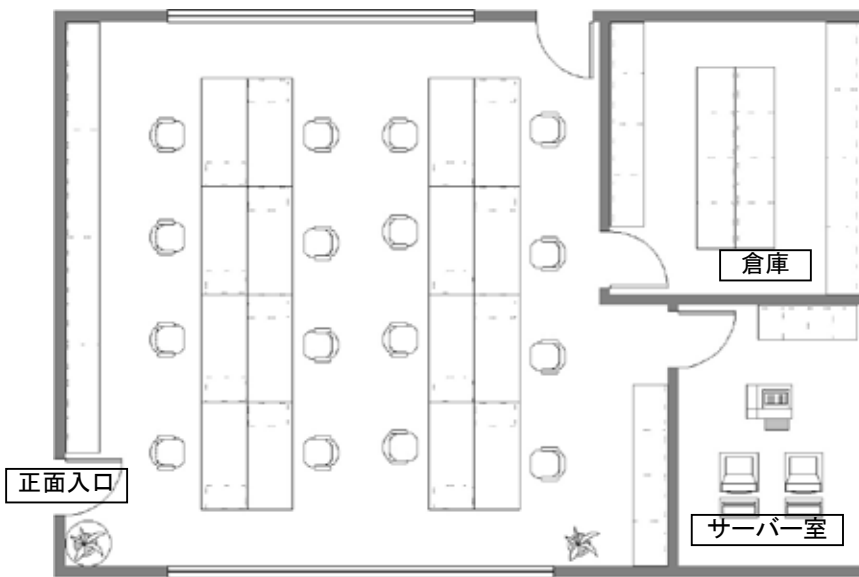
初期設定では以下の3つのアクセスレベルが登録されています。

- ・ 就業時間：タイムゾーンの就業時間にて設定された時間帯のみ、入室できる権限です。
- ・ 不許可：どのドアに対しても入室することが出来ません。
- ・ 全ドア・24時間：24時間すべてのドアに対し入室権限があります。

「不許可」「全ドア・24時間」は変更することが出来ません。また、必要なアクセスレベルは別途追加作成してください。アクセスレベルは全部で250種類登録することが出来ます。

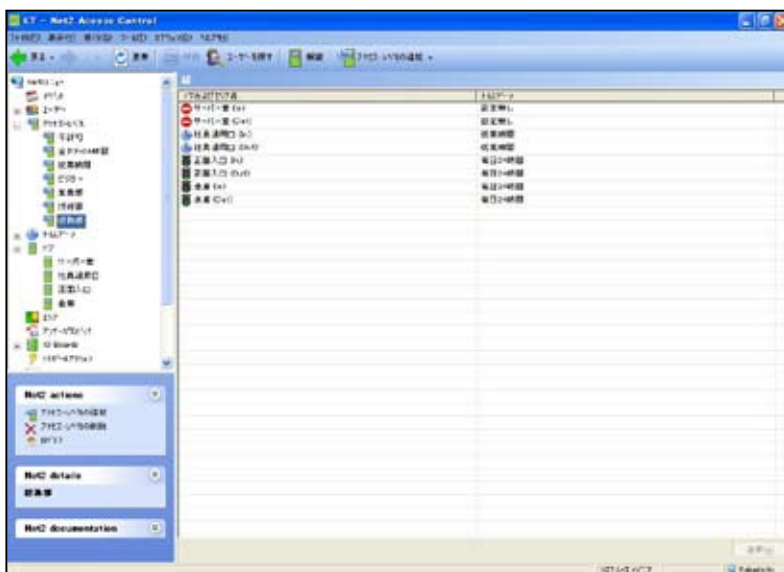
[設定例]

社員通用口



| | 正面入口 | 社員通用口 | サーバー室 | 倉庫 |
|------|--------|--------|-------|----|
| 営業部員 | ○ | ○ | × | × |
| 総務部員 | ○ | 9時～17時 | × | ○ |
| 技術部員 | ○ | ○ | ○ | × |
| ビジター | 9時～17時 | × | × | × |

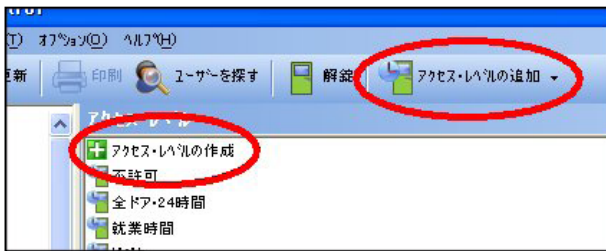
○：入室権限有り
 ×：入室権限無し
 9時～17時：時間帯による入室権限



この設定では、総務部員は正面入口・倉庫は常時、社員通用口は就業時間のみ、サーバー室は不許可（設定なし）となっています。

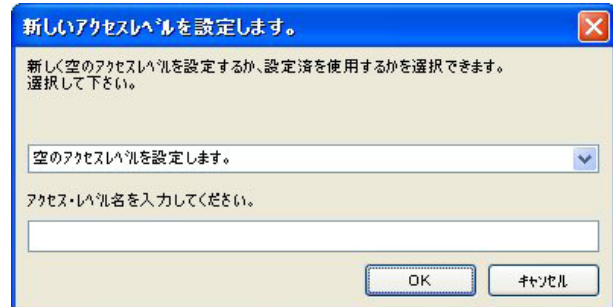
時計マーク表示：タイムゾーンにて入室権限が設定されていることを示します。
 進入禁止マーク：入室の権限がないことを示します。

5-1. アクセスレベルの新規登録方法

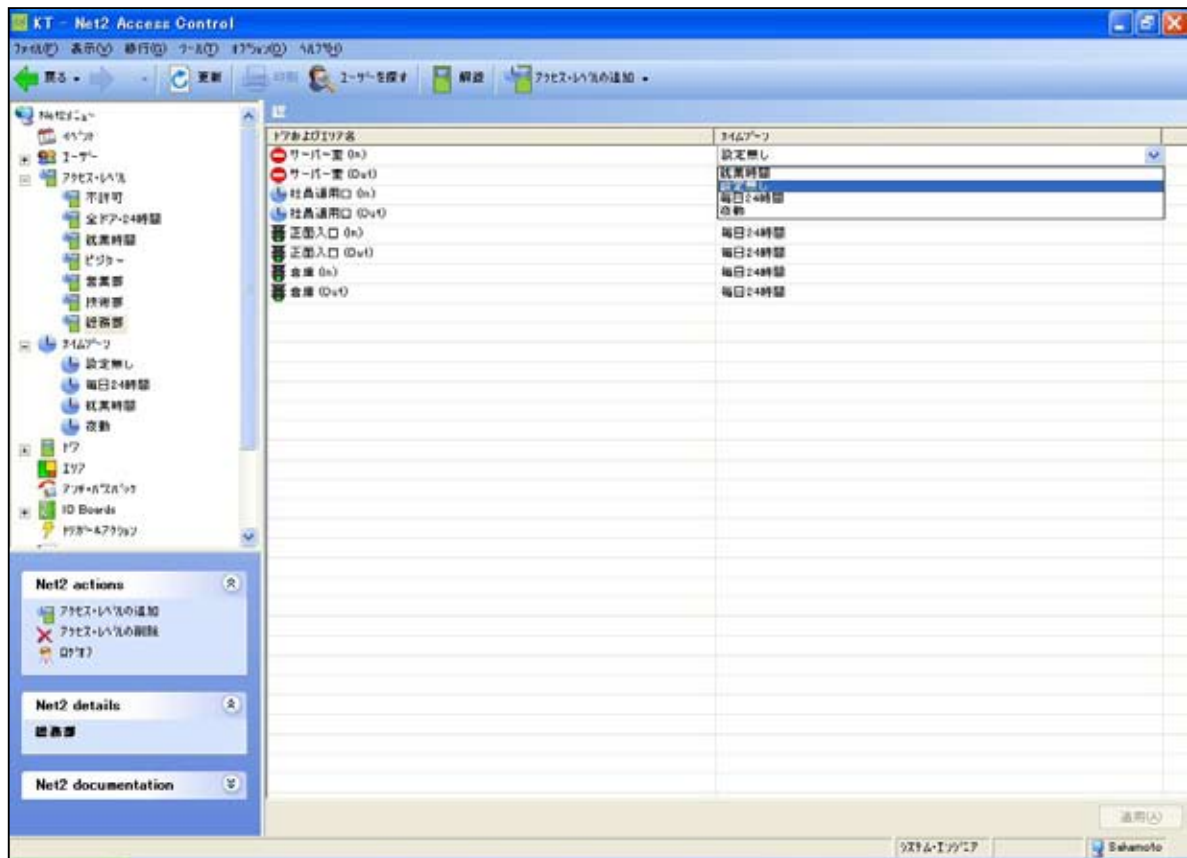


アクセスレベルの作成をダブルクリックするか、アクセスレベルの追加をクリックしてください。

下記ボックスが表示されますので、任意のアクセスレベル名を入力してください。



5-2. アクセスレベルの設定方法



各ドアの in と out それぞれに設定をすることが出来ます。(リーダーの設定がされているときのみ)

タイムゾーン欄をマウスで選択し、もう一度クリックしてください。

上図のように選択画面が開きますので、任意のタイムゾーンを選択してください。

6. ユーザーの設定・登録

6-1. ユーザー画面

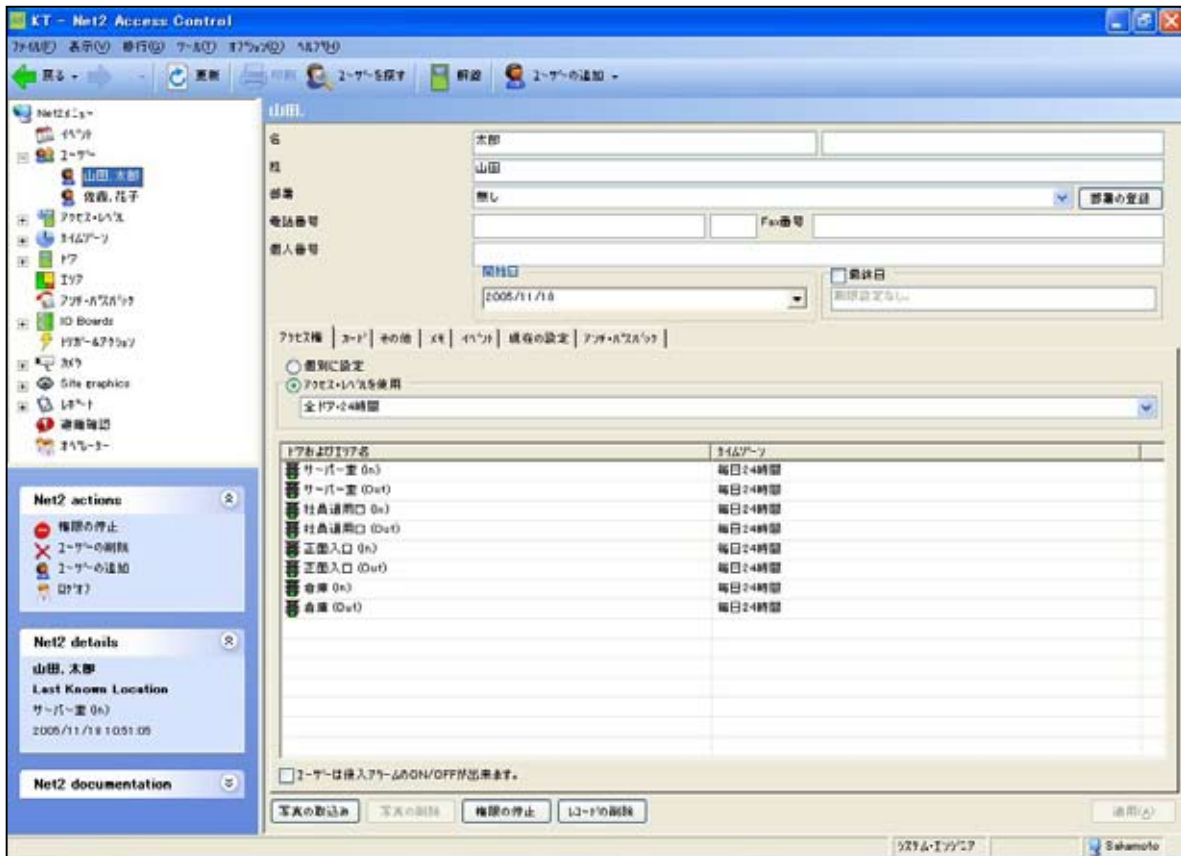
ユーザー情報

名・ミドルネーム・姓・部署・電話番号・Fax 番号・個人番号を入力することができます。

開始日：入室権限の開始日

最終日：入室権限を終了させる日です。

設定する場合はチェックボックスにチェックマークを入れ、最終日の選択を行って下さい。



アクセス権：各ドアに対してどのような権限を持つかが設定します。

カード：ユーザーが所有しているカード番号です。

その他：ユーザー情報を入力することができます。

メモ：ユーザー情報を入力することができます。

イベント：このユーザーの履歴情報を表示することができます。

現在の設定：ユーザーの入室権限を確認することができます。

共有番号：テンキーが接続されている場合に使用します。

入室権限の設定

個別に設定：各ドアに対して、個々にタイムゾーンを設定することができます。

アクセスレベルを使用：あらかじめ登録したアクセスレベルを使用することができます。

写真の取込み：写真を取込む場合に設定します。

写真の削除：取込んだ写真を削除します。

権限の停止：ユーザーのすべての権限を停止します。もう一度権限を設定すれば、再度使用出来ます。

レコードの削除：ユーザーに関する情報をすべて削除します。

6-2. ユーザーの登録

1、デスクトップ・リーダーを使い登録する。

デスクトップ・リーダーとして接続されているリーダーに新規登録するカードをかざしてください。

下記画面が表示されますので、必要事項を入力してください。

2、手動で登録する。(あらかじめカード番号が分かっている場合)



左図のユーザーの追加をクリックします。

カード番号の登録が終了しますと、鍵のマークと番号が表示されます。

ID 番号：システムにテンキーが接続されている場合に入力する番号です。個人に発行する場合に4桁の番号を手動で入力するか、自動発行してください。(番号の最初の数字に『0』は使用出来ません。)

6-3. ユーザーの検索

ユーザーを探すをクリックしてください。

左のウィンドウが表示されますので、条件を入力してください。カード番号から検索する場合には、<99999999>のように数字の前後にカッコをつけて検索してください。

6-4. ユーザーカードの削除方法

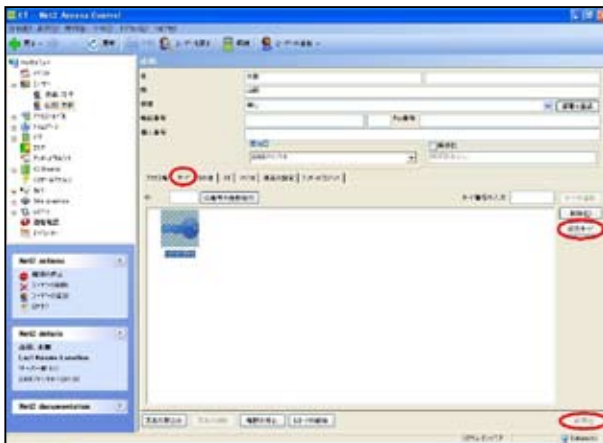


削除したいユーザーカードの画面を開きます。
 鍵マークをクリックして選択します。
 画面右側の 削除 (D) ボタンをクリックします。
 下記ウィンドウが表示されますので、よろしければ Yes(Y)
 を選択してください。

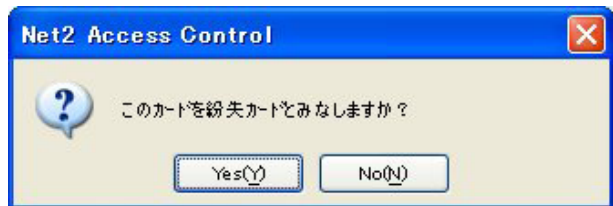


画面右下の 適用 (A) をクリックすれば削除完了です。

6-5. ユーザーカードの紛失カード処理



紛失カードとして処理したいユーザーカード画面を開き
 ます。
 鍵マークをクリックして選択します。
 画面右側の 紛失カード ボタンをクリックします。下記ウィ
 ンドウが表示されますので、よろしければ Yes(Y) を選
 択してください。



画面右下の 適用 (A) をクリックすれば紛失カード処理完了です。

紛失カードとして処理した場合、履歴画面で『紛失カード』の表示がされます。

紛失カードとして処理したカードが見つかり、再発行する場合は、一度削除し、再度登録してください。

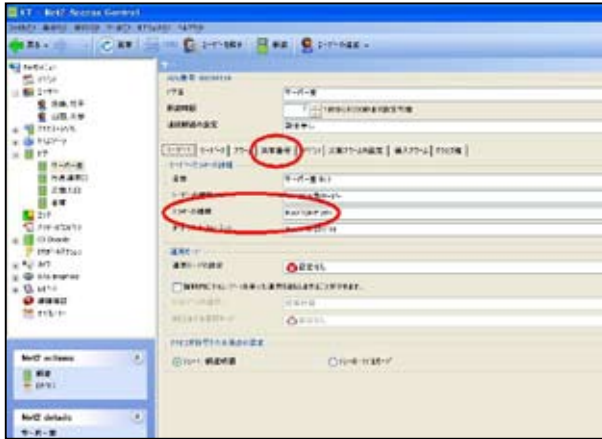
7. テンキーの設定方法

システムにテンキーが設置されている場合、共有番号・ID番号の設定が出来ます。

共有番号：個々の識別は出来ません。4～8桁までの数字を50種類登録できます。

ID番号：個人に割り当てる番号です。4桁の重複しない番号を手動で入力するか、自動発行ボタンを押して自動発行してください。

7-1. 共有番号の設定



テンキーの種類を選択します。(現在のところ PAXTON のテンキーのみ選択可能です。)

テンキーを選択することにより、共有番号を設定することが出来ます。



共有番号で個人の識別を行うことは出来ません。
4～8桁の数字を50種類登録することが出来ます。

7-2.ID 番号の設定



ID 番号は各個人に設定する番号です。

ユーザーのカードの画面を開いてください。

左図の ID の欄に重複しない4桁の番号を入力してください。または、自動発行してください。

8. イベント（履歴情報）の見方

イベントはシステムとパソコンがオンライン時（通信している時）に表示されます。オフライン時、2,300件のイベント情報がコントローラーに保存され、通信の復旧とともにパソコン側へダウンロードされます。イベントのダウンロードにはシステムの規模・パソコンのスペックにより時間がかかる場合がございます。

アクセス情報、システム情報についてのログはシステム運用開始時からすべてサーバー内に蓄積されます。履歴データはエクスポート機能を使用することにより、レポートとして、ユーザー / 管理ドア / 期間等項目を指定し、出力することができます。

| 日時 | ユーザー | 場所 | イベント | 詳細 |
|---------------------|--------|--------|---------------------------|-----------------|
| 2005/11/21 10:42:45 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:45 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:45 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:44 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:42 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:39 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:37 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:35 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:19 | 佐藤, 花子 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:17 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:15 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:10 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:10 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:10 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:10 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:10 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:09 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:09 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:09 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:09 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:08 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:07 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:07 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:07 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:07 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:06 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:42:06 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは不許可です: 入力されたIDは... | 入力されたIDの詳細が不明です |
| 2005/11/21 10:42:03 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |
| 2005/11/21 10:41:59 | 山田, 太郎 | 倉庫 (n) | アクセスは許可されました: 入力されたIDは... | |

各ボタンの説明

再生マーク：PCとACUはオンライン状態にあります。

一時停止：オフライン状態です。イベント画面で検索をすることができます。

検索バー：オフライン時条件を入力することで、履歴を検索することができます。

表示条件：過去1時間・今日・過去7日間・全てのいずれかのイベント表示条件を設定することができます。履歴情報の量・PCのスペックにより、表示まで時間がかかることがあります。

イベント全部を表示：左の表示条件の下、イベントを全部表示させます。

入退室履歴のみ表示：左の表示条件の下、入退室履歴のみを表示させます。

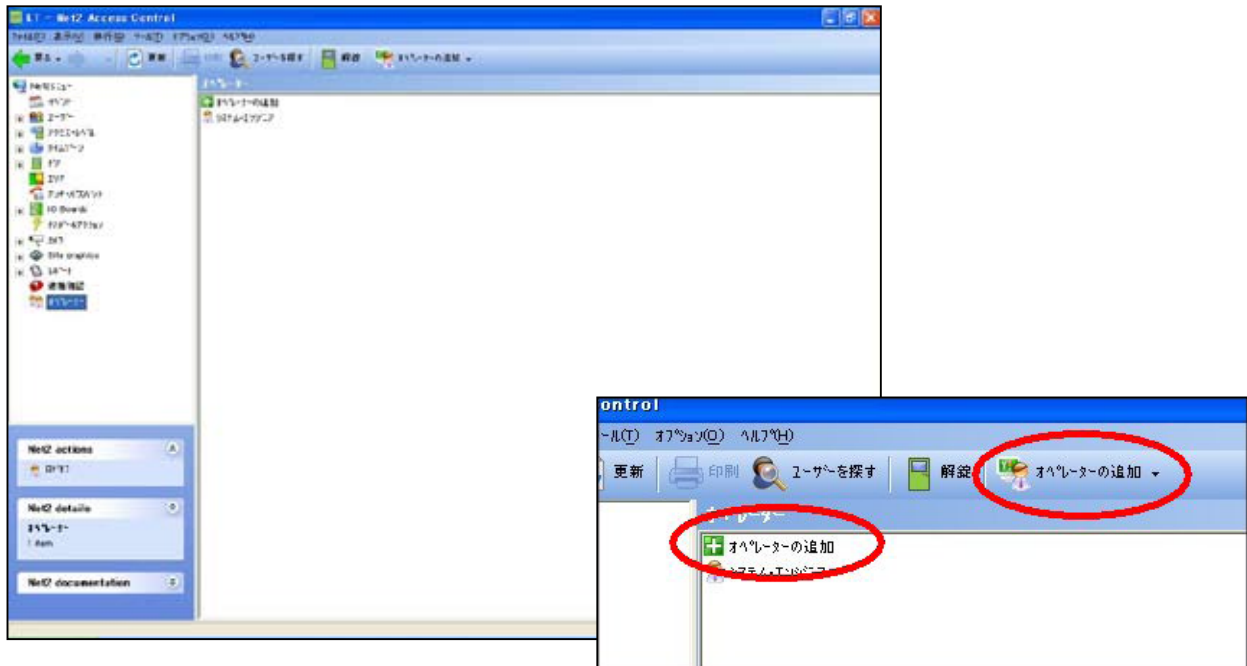
アラーム履歴のみ表示：左の条件の下、アラーム情報を表示させます。

システム関連の履歴を表示：左の条件の下、システム関連の履歴を表示させます。

アラーム情報をトップへ：アラーム情報を履歴の上部へ表示させます。

9. オペレーターの登録

システムにログインできるユーザーを登録することが出来ます。オペレーターの追加をクリックしてください。



下記ウィンドウが表示されますので、管理者として権限を与えるユーザーを登録してください。

オペレーターウィザードステップ1

オペレーターの権限とパスワードを設定します。登録済みのオペレーターを削除する場合「無し」を選択してください。「終了」で保存、「キャンセル」で中止します。

警告:パスワードは5桁以内の半角英数字のみです。ご注意ください。

| | |
|--------------|--|
| 名前(N) | 太郎 山田 |
| オペレーターの権限(O) | スーパーバイザー |
| パスワード(P) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> システムエンジニア スーパーバイザー 勤務管理者 カード管理者 標準(確認のみ) イベント閲覧のみ 勤務管理のみ </div> |
| パスワードの確認(C) | |

システムエンジニア：システムのハード・ソフトを含めて全ての設定を行うことが出来ます。

スーパーバイザー：ソフトの設定を行うことが出来ます。

カード管理者：ユーザーの設定を行うことが出来ます。

標準（確認のみ）：設定を閲覧することは出来ますが、変更することは出来ません。

イベント閲覧のみ：履歴情報を閲覧し、その印刷が可能です。

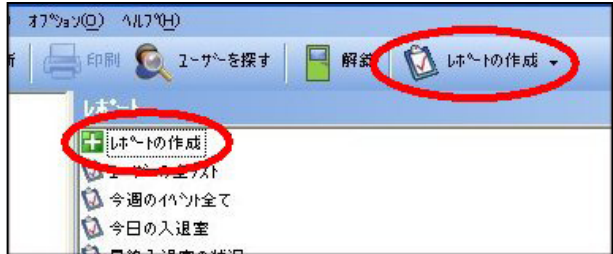
注意：パスワードとして登録できるのは5桁以内の半角英数字のみです。

10. レポートの作成



イベント（履歴情報）や各種設定情報に関するレポートを作成することが出来ます。

あらかじめ用意されている項目を利用するか、ウィザードを使い、必要な情報の抽出を行ってください。



レポートの作成をクリックしてください。下記のウィザードが表示されますので、指示に従って項目を選択してください。

レポートを抽出する対象ユーザーを選択してください。



次にドアを選択してください。



次に抽出する期間を選択してください。

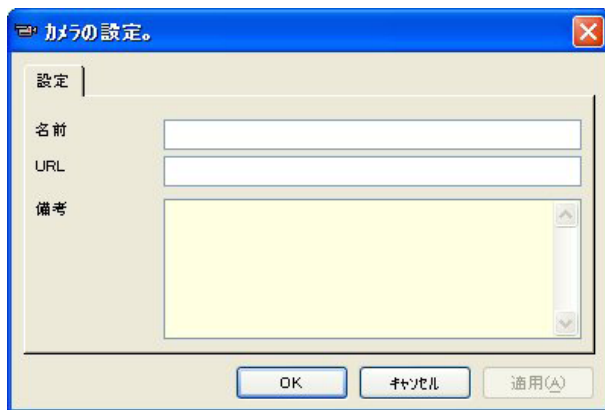
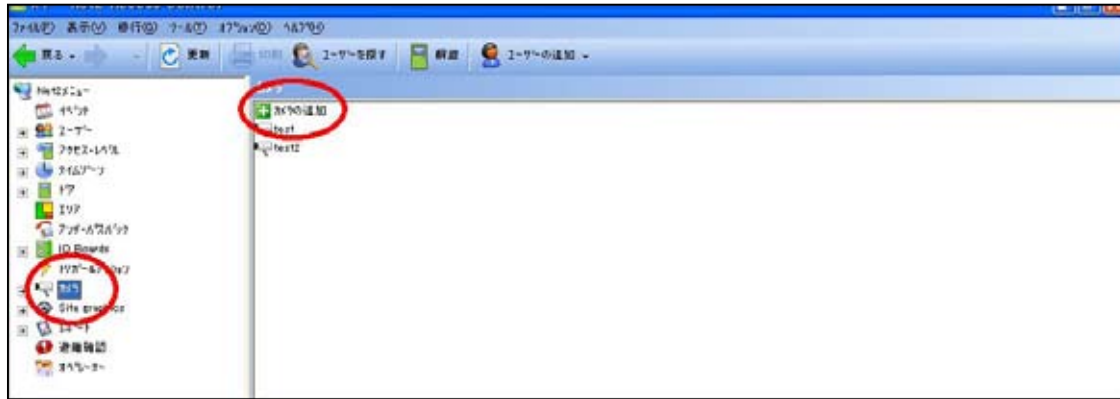


以上の手順で該当するレポートを抽出することが出来ます。

印刷する場合は、印刷 をクリックしてください。また、この条件で次回も出力する場合は、名前（タイトル）を付けて保存してください。

11. カメラの設定方法

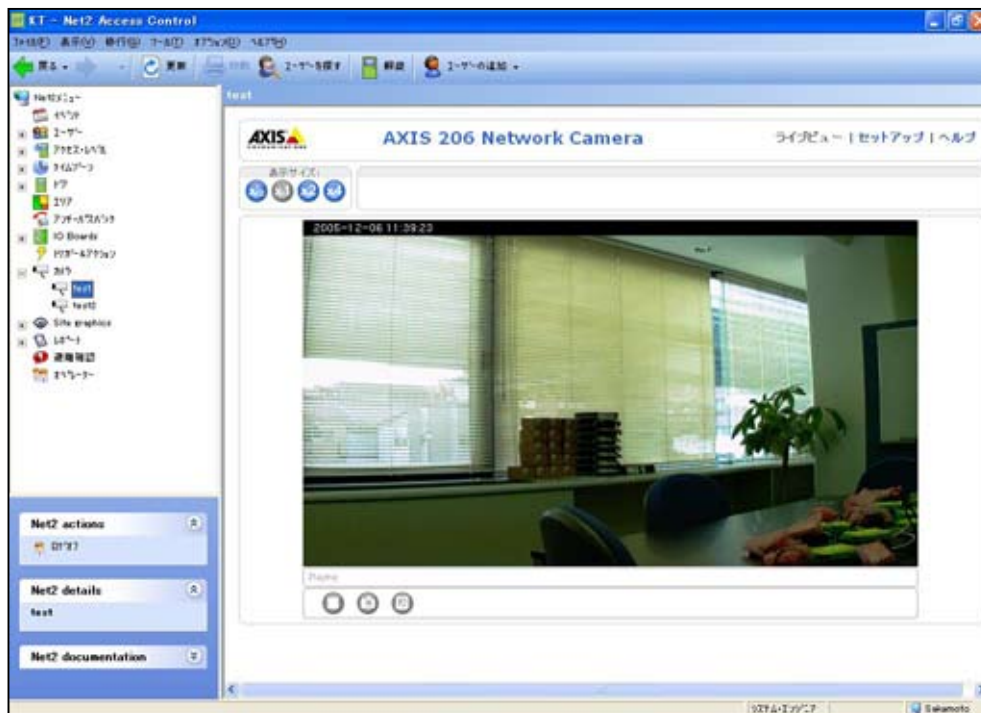
Net2 でカメラを使用するには、あらかじめ IP カメラの設定を行う必要があります。各 IP カメラの設定後、Net2 にて設定を行ってください。ツリーにてカメラを選択してください。下記画面が表示されますので、カメラの追加をクリックしてください。



カメラの追加をクリックすると、左記画面が表示されます。各項目を入力してください。

- ・名前：IP カメラの名前
 - ・URL：IP カメラの URL または IP アドレスを入力してください。
 - ・備考：メモ等にご利用ください。
- OK をクリックすれば登録完了です。

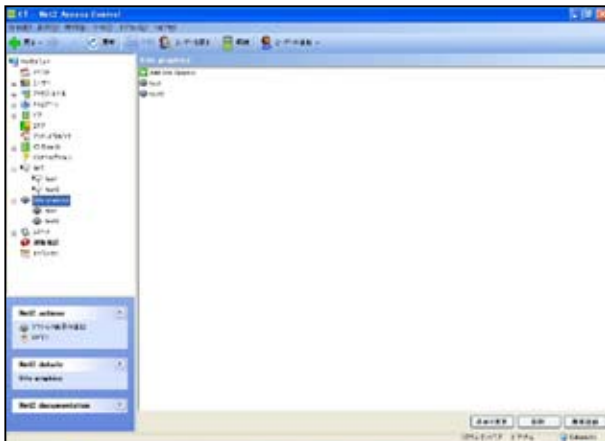
<例> IP カメラの設定後、登録したカメラを選択すると下記画面のように表示されます。



注：表示方法は各 IP カメラにより異なります。すべて上記画面のように表示されるとは限りません。

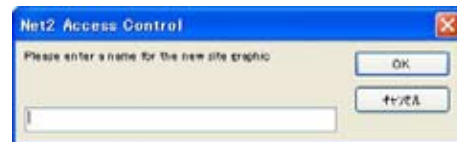
12. サイトグラフィックの設定

サイトグラフィックを使用することにより、管理者は画面上でドア・カメラの状態をリアルタイムで確認することが出来ます。



ツリーからサイトグラフィックを選択し、サイトグラフィックの追加をクリックしてください。

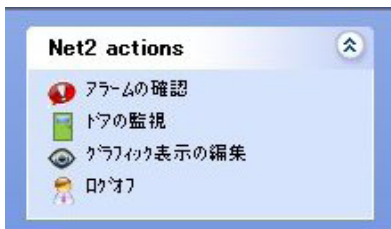
下記画面が表示されますので、任意の名前を入力してください。



次に取り込む画像の選択をします。画像のファイル形式はjpg または bmp です。

画像の取り込みが終了すると、下記のように表示されます。

次に画面左のグラフィック表示の編集を選択してください。



下記のような画面表示に切り替わります。



左欄より設定したいドア・カメラを選択してください。次に、画面上で配置したい箇所にマウスを合わせクリックしてください。左画面のように各ドア・各カメラを配置することが出来ます。

一度ドラッグしたドア・カメラはマウスで選択することにより移動出来ます。

ドアの状態を確認することが出来ます。

画面左の『ドアの監視』を選択することで、「ドアのこじ開け」や「閉め忘れ」時にグラフィック表示により確認することが出来ます。

『ドアの監視』状態の場合、左図のように左下にモニター中であることが表示されます。

また、グラフィック表示の識別は以下の通りです。



- ・ 灰：ドア閉
- ・ 緑：通常のドアの開放
- ・ 黄：ドアの閉め忘れ
- ・ 赤：ドアのこじ開け



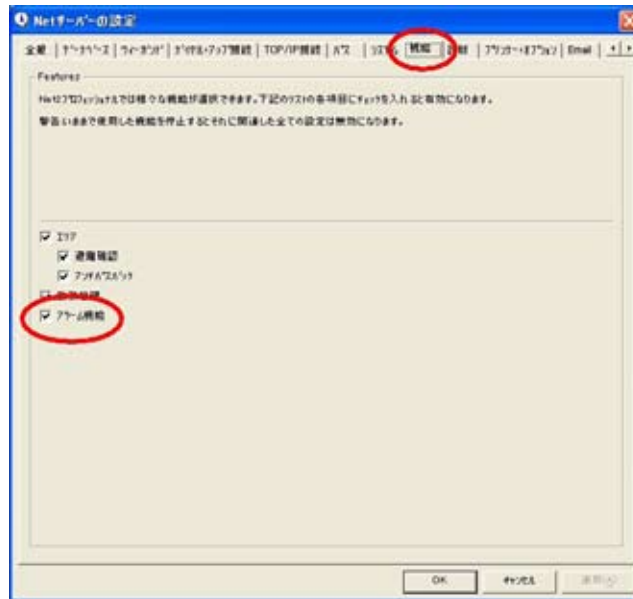
- ・ ACU とサーバーが通信していない場合は赤の開放
- ・ 青：編集時（ドア位置を変える時）

13. 侵入アラームの設定

Net2 の総アラーム機能を使用する場合、Net2 は侵入アラーム機能を設定します。侵入アラーム機能が ON の状態においては、アラーム機能の解除権限を持つ管理者のみが Net2 にアクセスすることが出来ます。その他のユーザーはアクセス権を有しているにもかかわらず、アクセスが許可されることはありません。

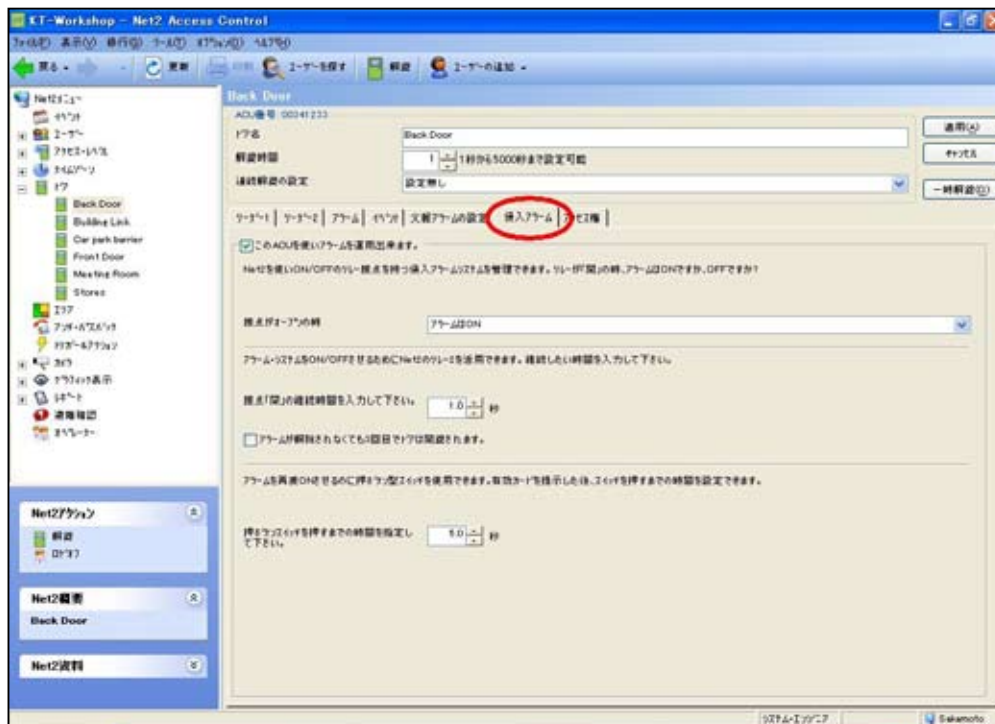
13-1. 侵入アラームを使用するには

侵入アラームを使用するには、Net2 サーバーの設定で『機能』の『アラーム機能』が有効になっている必要があります。



13-2. 侵入アラームの設定

侵入アラームの設定は Net2 アプリケーションで行います。上記選択がなされている場合、アプリケーション上のドアの設定画面で、侵入アラームを設定する画面が表示されるようになります。



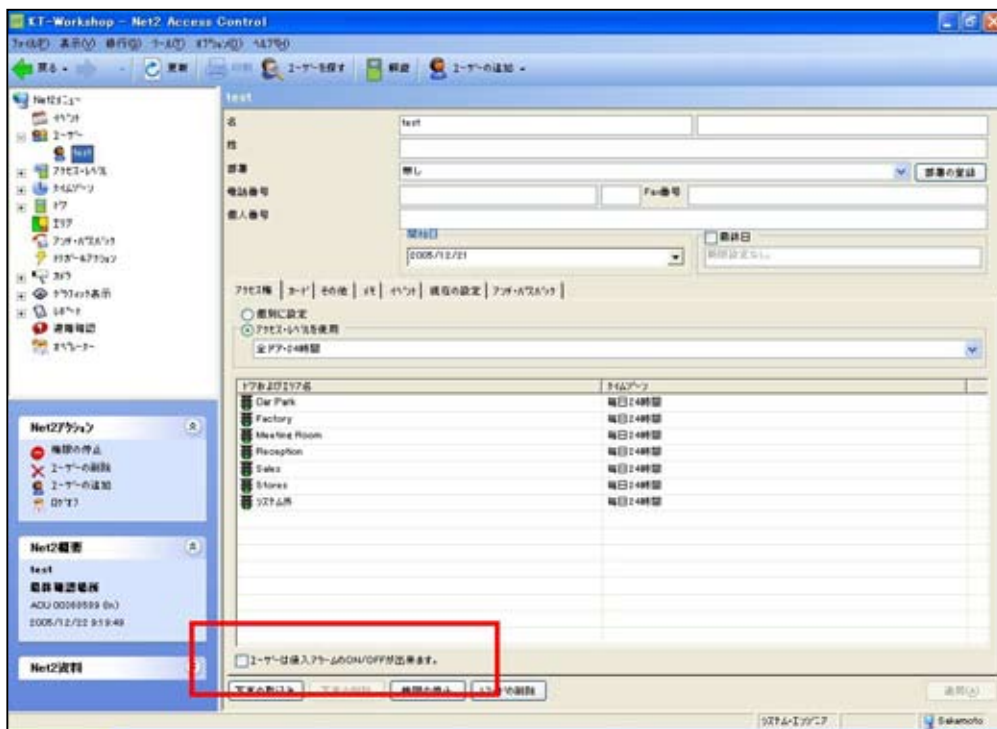
侵入アラームを使用するには、以下の項目の設定を行う必要があります。

- ◆機械警備からの信号接点の状態であらうの ON/OFF を設定します。(通常は ON で使用してください。)
- ◆リレー 2 の活用時間を設定します。(通常は 1 秒に設定してください。)
- ◆正常にアラームが解除されなくても 3 回目でドアを解錠したい場合、チェックマークを入れてください。
- ◆侵入アラームを有効にする場合、押しボタンスイッチを使用します。管理者のカードを提示し、押しボタンスイッチを押すまでの時間を設定してください。

注：侵入アラームをかける ACU すべてで設定を行ってください。

13-3. 管理者の設定

侵入アラームを有効にする管理者を選択します。ユーザーの設定画面を開き、画面下部の侵入アラームの ON/OFF 権限を有効にしてください。



13-4. 侵入アラームの有効 / 無効

侵入アラームを有効にするには、管理者がカードをリーダーにかざし、設置された押しボタンを押すことにより設定できます。

侵入アラームを解除するには、管理者がカードをリーダーにかざしてください。侵入アラームが有効な状態の時、他のユーザーはアクセス許可されることはありません。

K50 型テンキーを使用時、警備をかけるには * を押し、7 秒以内に暗証番号を入力してください。KP50 型テンキー & 非接触カードリーダーを使用する場合、カードか暗証番号またはその両方を * を押し、7 秒以内に入力してください。

注意：侵入アラームを使用するには、設置システム機器が侵入アラーム用に設定（接続）されている必要があります。アプリケーション上で設定するだけで、すぐに使用できる機能ではありません。また、設置されている（またはこれから設置する）ACU に対して侵入アラーム機能を適用させる場合、各 ACU に 1 台の機械警備用インターフェースが必要になります。現設置システムで使用可能であるか、また、システム機器側の設定等につきましては、設置・施工代理店までご相談下さい。

14.Milestone XProtect ソフトウェアとの連動

14-1. 概要

Net2 と Milestone XProtect Enterprise を連動させることにより、イベントと関連して監視カメラ映像を閲覧することが出来ます。これにより、管理者が何かしらのアラームが発生した時にイベントからアイコンをダブルクリックすることにより簡単にその時の映像を参照することが出来ます。

14-2.Milestone XProtect Enterprise との統合

Net2 での設定を行う前に Milestone のソフトウェアがインストールされ稼動状態である必要があります。Milestone のソフトウェアの設定が終わりましたら、Net2 がインストールされているサーバーに Milestone XProtect Remote Client をインストールします。Remote Client をインストールするには、Internet Explorerを通して（例えばアドレスバーに <http://Milestonesvr.> と入力して）Milestone サーバーをブラウザしてください。Milestone サーバーと接続し、Remote Client をインストールするためのオプションを開くことが出来ます。



「Download and install XProtect Remote Client locally」をクリックしてください。インストールウィザードが起動します。Milestone のインストールが終了しましたら、Net2 サーバーの設定を行う必要があります。Net2 サーバーが起動している場合、アイコンを右クリックして『閉じる』を選択して終了させてください。

デスクトップのショートカット（またはクイックランチャー）から XProtect Remote Client を起動させてください。ログイン項目を入力し、Milestone サーバーに接続してください。一度入力しますと、再度ブラウザを設定する必要はありません。（パスワードは接続時には入力します。）

Net2 を起動しますと、自動的に XProtect Remote Client を認識します。



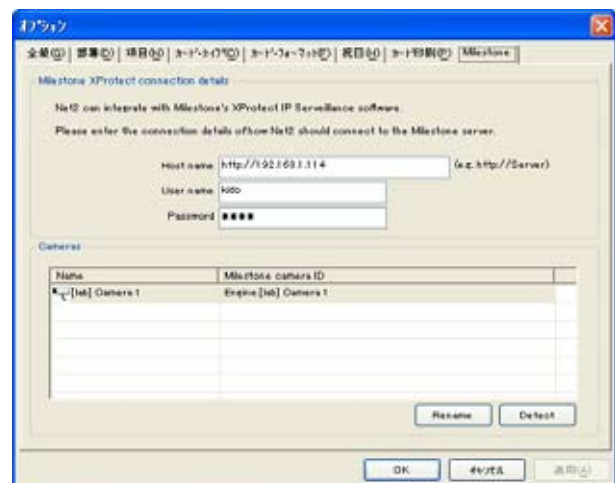
14-3.Net2 の設定

オプションメニューから Milestone XProtect オプションを選択してください。サーバーへの接続設定を行うことが出来ます。

Milestone がインストールされているサーバー（例：<http://Milestonesvr.>）を入力し、その後、ユーザーネームとパスワードを入力してください。

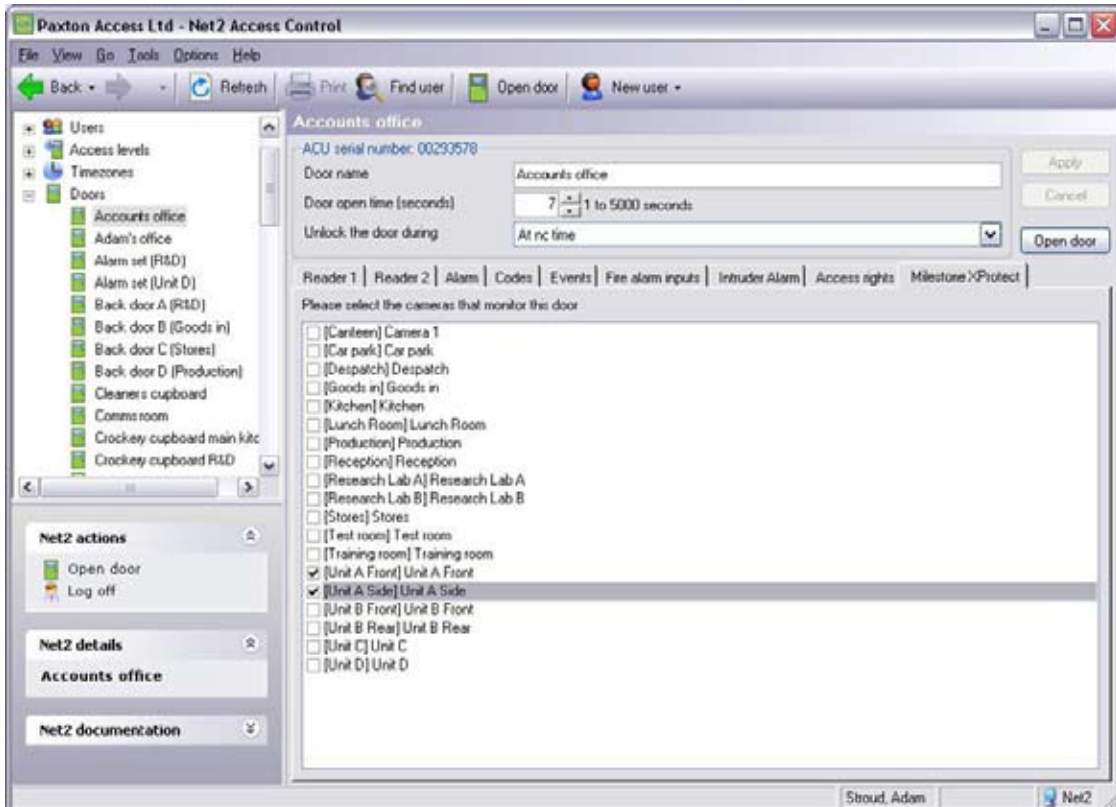
検出『Detect』ボタンをクリックすることにより、自動的に Milestone ソフトウェア内のカメラを認識することが出来ます。

Net2 クライアントとして、ワークステーションをインストールしている PC においても同様の設定を行う必要があります。



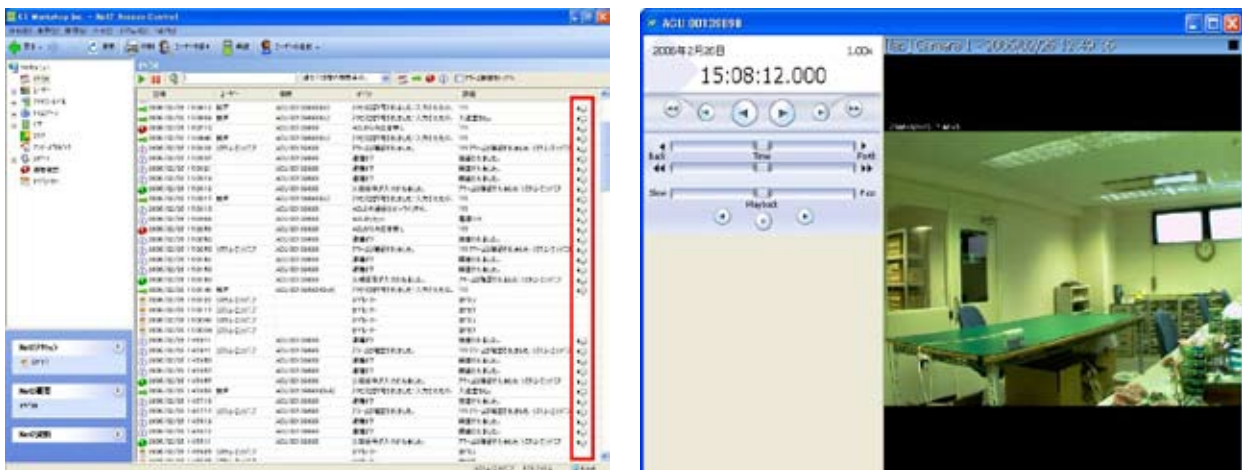
14-4. ドアの設定

カメラが設置してあるドアに対して設定を行う必要があります。ドア設定の Milestone XProtect タブを開いてください。このタブのリスト内から、ドアと関連しているカメラにチェックマークを入れてください。モニターされるすべてのドアに対して設定を行ってください。



14-5. イベント画面

IP カメラに関連したイベントはイベント欄の横の追加アイコンで表示されます。アイコンをダブルクリックすると、そのイベントに関連する Milestone XProtect ソフトウェアに格納されたビデオ画像が表示されます。

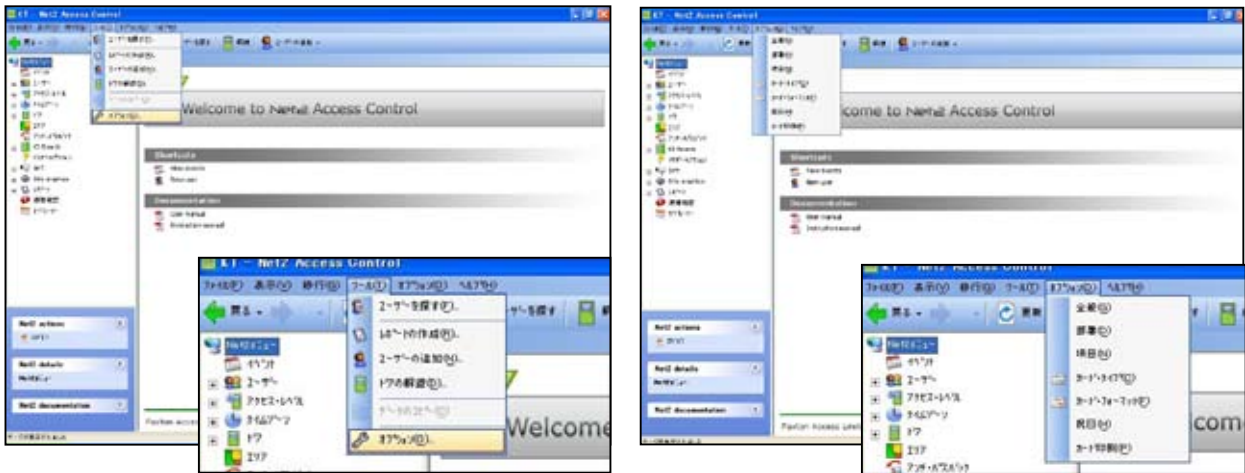


注意

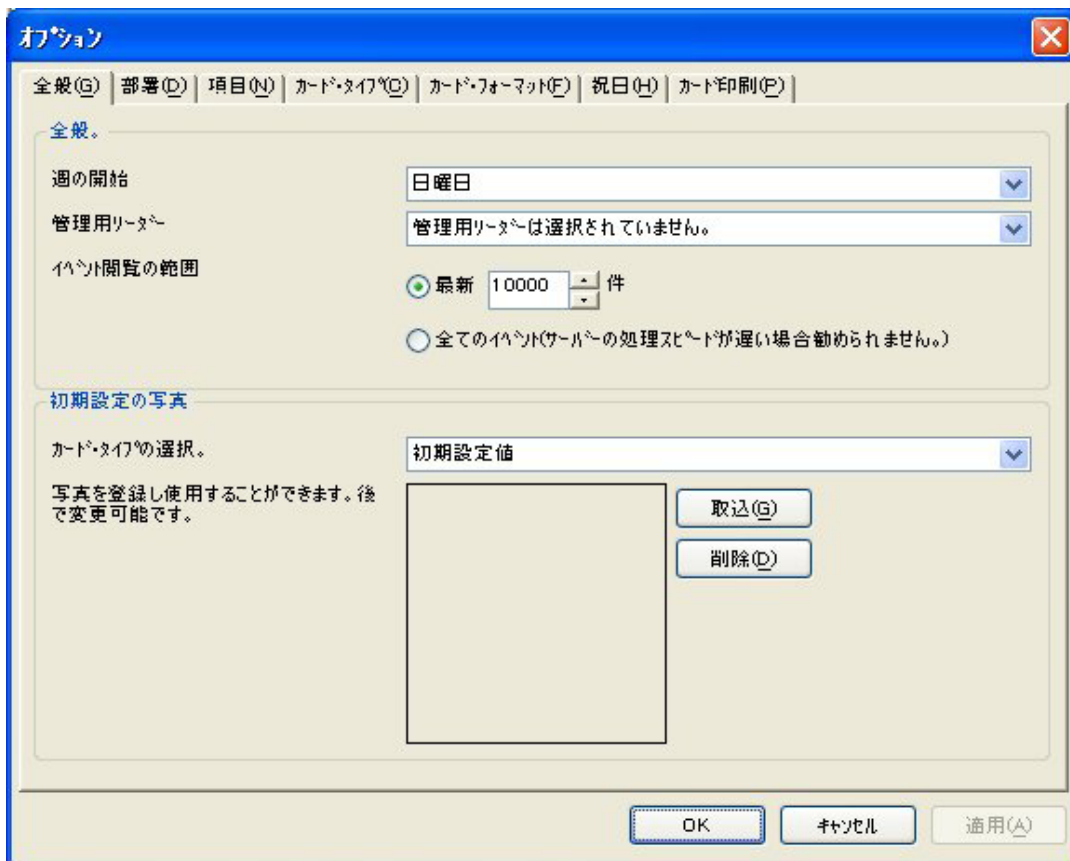
- ・現在 Net2 と連動できる Milestone ソフトウェアは XProtect Enterprise のみです。
- ・Milestone ソフトウェアは専用サーバにインストールしてください。
- ・<http://www.milestonesys.com> で Milestone 製品に関する詳細を見ることが出来ます。(英文)

15. オプションの設定

システムに関して様々な設定を行うことが出来ます。



上記画面のいずれかより、設定したい項目を選択してください。下記画面が表示されます。



全般：週の開始・管理用リーダー・イベント閲覧の範囲等を設定できます。

部・課：個人のデータベースを部・課ごとに管理できます。ユーザー数が多い場合、管理しやすくなります。

項目：個人のデータベースの項目を編集し、カスタマイズすることが出来ます。

カード・タイプ：個人のデータベースを作成するときにカード・タイプ（ひな形）として登録すれば、データを効率よく登録することが出来ます。

カード・フォーマット：Paxton 製以外のカードシステムを使用する場合のデータ・フォーマットを作成することが出来ます。

祝日：祝日・休日等の設定を行います。設定された日は祝日として認識され、タイムゾーンの祝日の時間帯設定に従います。

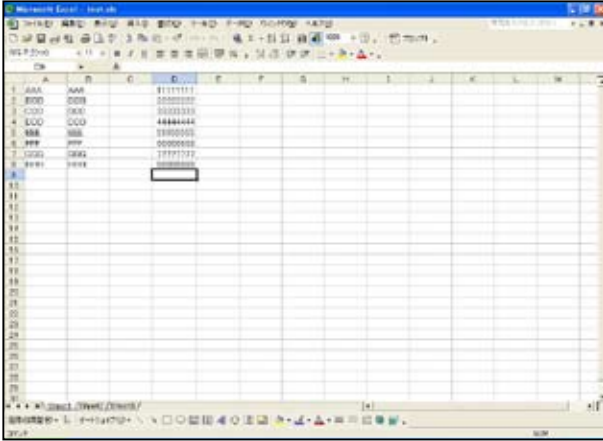
カード印刷：カード・プリンターが接続されている時に使用します。

16. データのインポート・エクスポート

ユーザーデータのインポート・エクスポートをすることができます。

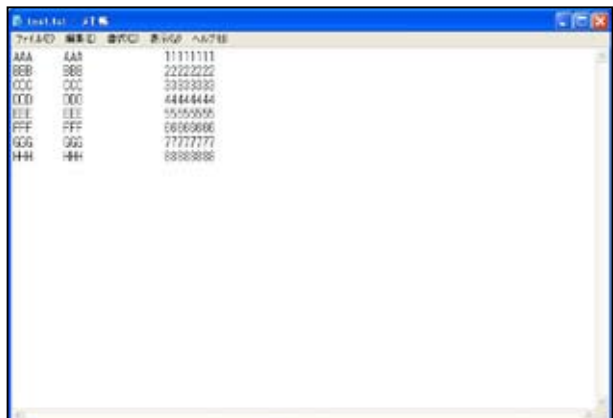
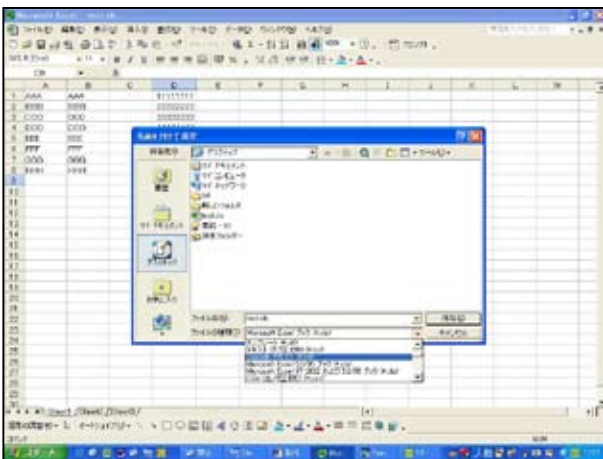
16-1. インポート

1、Microsoft Excelにて編集・作成したシートを例に説明します。データの順序は下記の通りです。項目番号（A-Z）は列方向です。



| | | | | | |
|------|---------|------|--------|-------|-------|
| 項目 | A | B | C | D | E |
| 内容 | 姓 | 名 | ミドルネーム | カード番号 | ID 番号 |
| 備考 | 必須項目 | 必須項目 | | 4～8桁 | 4桁のみ |
| F | G | H | I | J | K |
| 部・課 | アクセスレベル | 電話番号 | 内線 | FAX | 開始日 |
| L | M | N | O | P | Q |
| 最終日 | 住所 1 | 住所 2 | 市・町 | 国 | 郵便番号 |
| R | S | T | U | V | W |
| 自宅電話 | 自宅 FAX | 携帯電話 | E-mail | 役職 | 開始日 |
| X | Y | Z | | | |
| 車両番号 | メモ | 個人番号 | | | |
| | | | | | |

2、ファイルメニューから「名前をつけて保存」を選択し、「ファイルの種類」を「Unicode テキスト」を選択して保存してください。Net2 は V3.26 より Unicode テキスト形式のデータにのみ対応しています。



保存したファイルを開くと上記のようになります。

3、Net2 のファイルメニューよりインポートを選択してください。インポート・ウィザードが立ち上がります。



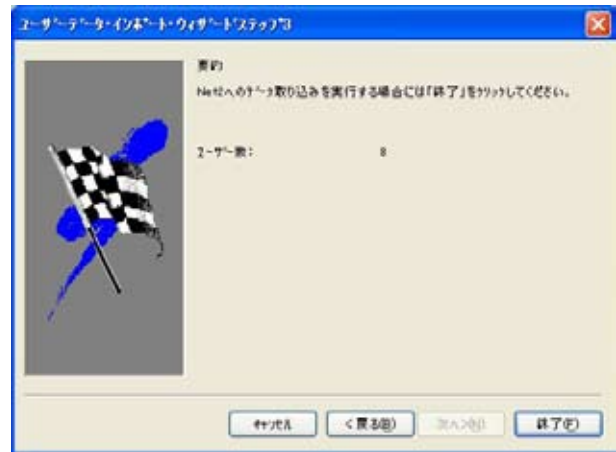
先程作成し、保存した「Unicode テキスト」ファイルを指定します。

右端の『タブ』を選択してください。
他のチェックマークは外してください。

4、データが正しく確認できるとステップ2に進みます。



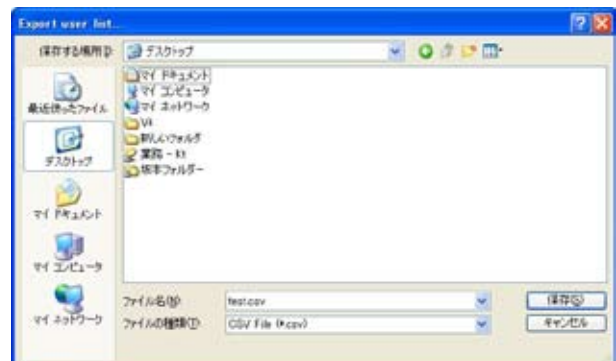
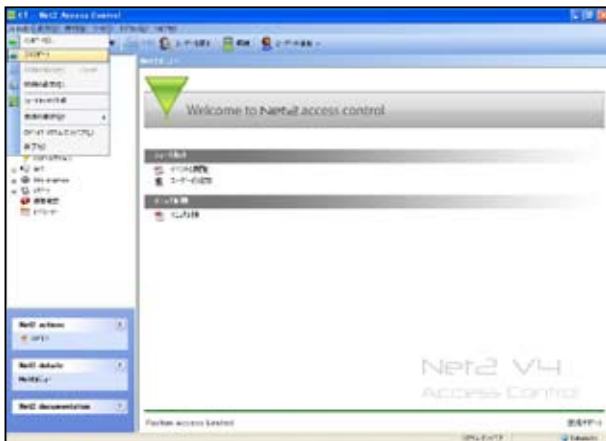
5、終了 (F) をクリックしてください。



6、取り込んだデータ内容を各コントローラーに書込みます。システムの規模、パソコンの性能により多少時間がかかることがあります。

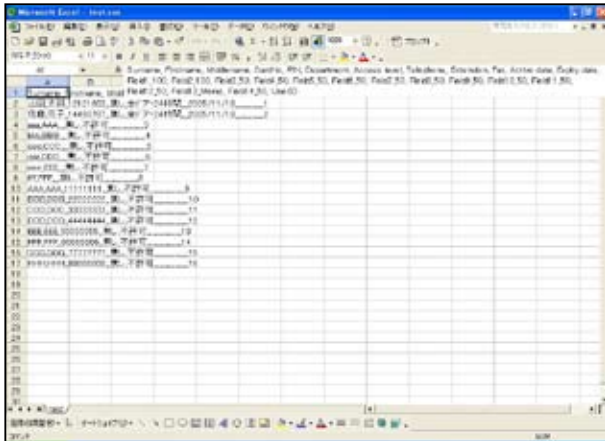
16-2. エクスポート

1、ユーザーデータを「CSV ファイル」形式で抽出します。Net2 ファイルメニューより「エクスポート」を選択してください。

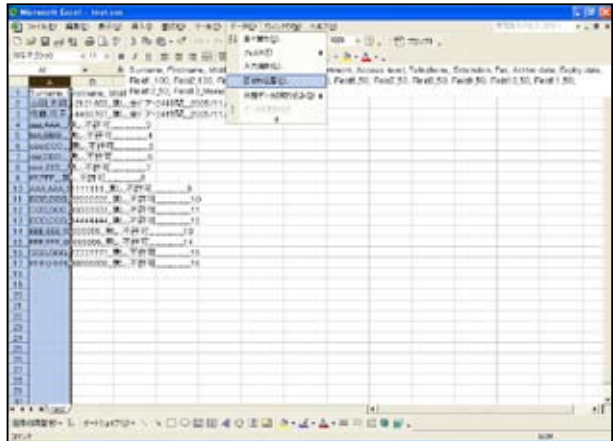


上記ウィンドウが表示されますので、任意のファイル名を入力し、保存してください。ファイルの種類は「CSV File」です。

2、保存したファイルを開きますと、下記のように表示されます。この状態ですと、作業しづらいので編集しなおします。



3、A列を全て選択し、メニューより「区切り位置」を選択して下さい。



4、下記のウィザードが表示されますので、「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択して下さい。

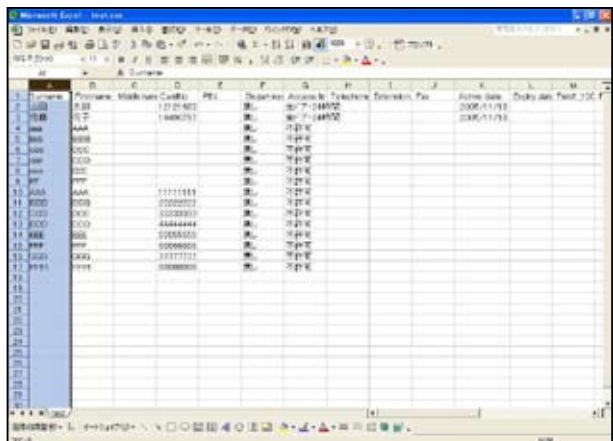


5、区切り文字を「カンマ」にしてください。下記のように表示されます。



6、ウィザードの指示に従い、完了 を選択して下さい。

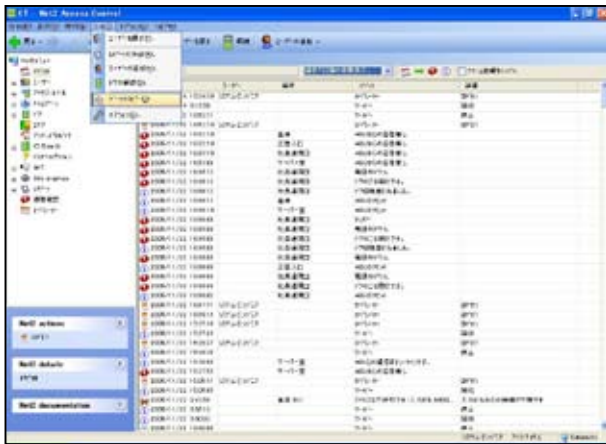
7、下記のようにデータが編集されます。



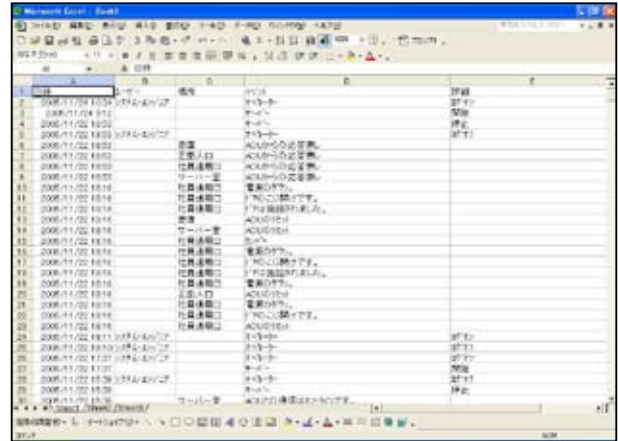
8、編集されたファイルをエクセル形式で保存してください。

16-3. イベント（履歴）データの取り出し

イベントはデータを取り出し、他のアプリケーションで活用することが出来ます。
 イベント画面を開き、メニューのツールから「データのコピー」を選択してください。



エクセル等の他のアプリケーションを開き、データを貼り付けてください。

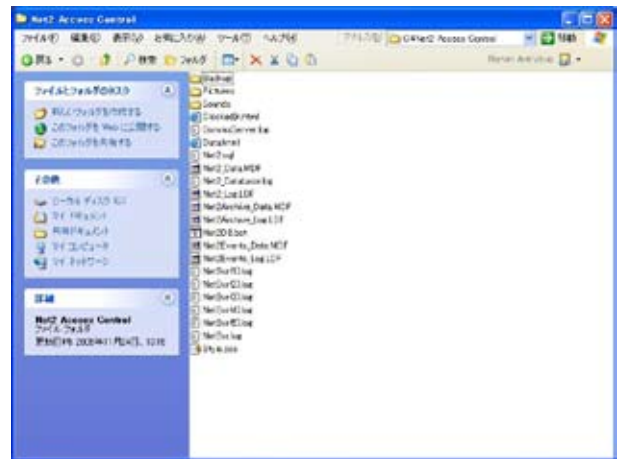
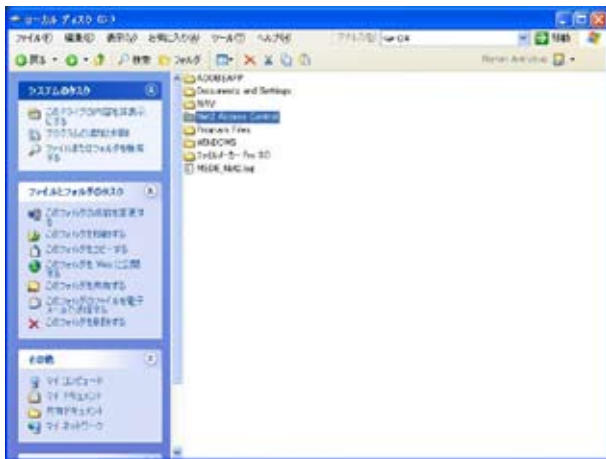


必要に応じ、抽出したデータを保存してください。

17. バックアップ

システムの設定情報・イベント情報は全てハードディスク内（通常は C: ドライブ）の Net2 Access Control フォルダ内に保存されています。

パソコンのクラッシュ等の万が一の時のため、定期的に外部媒体でのデータの保存は必ず行ってください。システムを復旧させるための重要なデータはこのフォルダ内に保存されています。



Windows のバックアップ・ユーティリティを使用し、定期的にバックアップを行うことを推奨します。バックアップ・ユーティリティの使用方法については、各 OS の Microsoft サポートページをご覧ください。

Windows XP : <http://support.microsoft.com/?scid=kb;ja;882790&spid=3223&sid=1212>

注意：バックアップを手動で行う場合、必ずサーバーを閉じてから行ってください。また、サーバーのデータベースを参照する場合も同じくサーバーを閉じてから参照してください。サーバーを開いた状態で作業を行うと、作業ミスや他の何らかの原因でデータベースが破壊される危険性があります。データベースを参照する場合は、ファイルのコピー等で作成したものを参照してください。万一の操作ミスによるデータベース破損を防止することができます。

Microsoft 社の提供する情報をもとに、後述参考資料として掲載しております。

18. クライアントパソコンからの管理

同時に5箇所のパソコンから管理・運用することが可能です。例えば受付ではビジター用のカードを発行し、総務では前日のレポートを作成し、システムエンジニアは入室権限の設定変更等を行うといった運用ができます。

1. クライアントとして使用するパソコンにアプリケーションソフトをインストールする。



付属のインストール CD をパソコンにセットしてください。インストーラーが自動で立ち上がりますので、『Net2 Additional Workstation Software』を選択してください。CD キーは必要ありません。

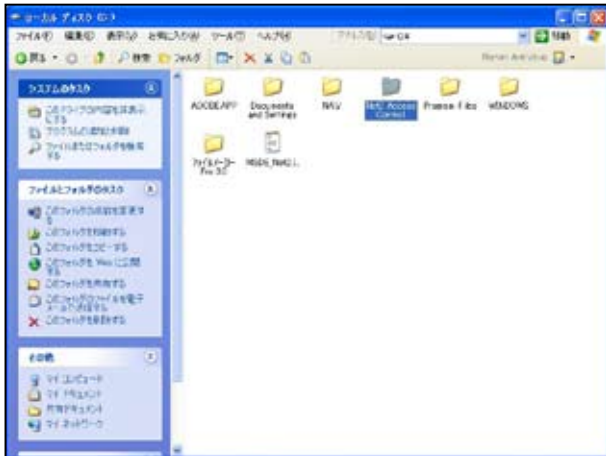
2. インストールが終了しましたら、Net2 を起動させてください。

右図のようなログイン画面が表示されます。管理する Net2 サーバーを選択しクリックしてください。あとは通常の運用と同様です。



注意：クライアント機能を使用するには、ネットワーク環境が 200kbps 以上の通信速度が必要です。

19. アプリケーション・ソフトの再インストール



1、Net2 のデータをバックアップする。

マイコンピュータ→ローカルディスク（通常は Cドライブ）
→ Net2 Access Control フォルダを全て外部媒体に保存してください。ユーザー情報・システム構成情報・イベント（履歴情報）等は全てこのフォルダ内に保存されています。尚、正常に保存できましたら、ハードディスク上からフォルダを削除してください。

2、付属の CD を挿入する。

付属の CD を D:ドライブ（通常）に入れてください。自動的に右画面が表示されます。「English」を選択し、インストールを開始してください。



3、インストールの開始



各項目へ任意の名称・名前を入力してください。

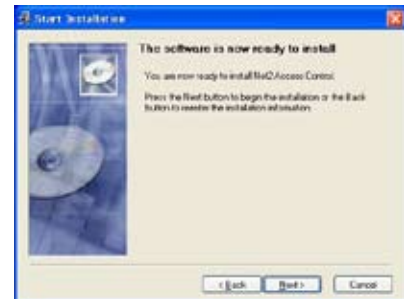


チェックマークを入れ、ライセンスに同意してください。

ライセンスに同意しなければ、インストールすることは出来ません。

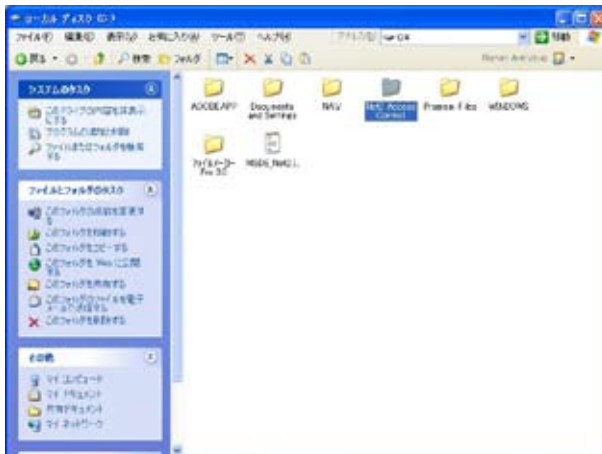
「Net2 Standard Software」を選択してください。
Professional 盤は有料になり、CD Key が必要です。

特に変更する箇所がなければ、Next をクリックしてください。インストールが始まります。



以上でソフトのインストールは完了です。

次に、バックアップからの復旧をします。先程、外部媒体に保存したデータを用意してください。



マイコンピュータからローカルディスクを開きます。
再インストール後、一度ソフトを起動した場合、左図のように「Net2 Access Control」フォルダが作成されています。起動させていなければ作成されていません。
先程、バックアップ保存したファイルをコピーしてください。
以上で復旧作業は終了です。ソフトを起動してください。

注：上記作業手順で復旧出来ない場合、システムデータが破損している可能性があります。代理店までご相談下さい。

プロフェッショナル版の機能について

プロフェッショナル版（有料）では、以下の5つの機能を使用することが出来ます。

- ・非常時（火報時）一斉解錠機能：非常時にドアを全て解錠する機能です。
- ・避難確認：非常時にユーザーが避難したか確認できる機能です。
- ・アンチパスバック：カードの2重使用を防ぐ機能です。
- ・ウィーガンド出力カスタム機能：各ウィーガンド出力のリーダーを使用できる機能です。
- ・タイムシート（勤怠管理）：勤怠管理を行う機能です。

Net2 スタンダードとプロフェッショナルの機能の違い

| | Standard(Free) | Professional |
|-----------------------|----------------|--------------|
| 200 ドア | ○ | ○ |
| 10000 ユーザー | ○ | ○ |
| クライアント・ユーザー | ○ | ○ |
| 複数通信ポートの活用 | ○ | ○ |
| IP カメラ | ○ | ○ |
| 侵入者アラーム | ○ | ○ |
| サイトグラフィック | ○ | ○ |
| トリガー&アクション | ○ | ○ |
| Milestone integration | ○ | ○ |
| 非常時（火報時）一斉解錠機能 | × | ○ |
| アンチパスバック | × | ○ |
| 非難確認機能 | × | ○ |
| ウィーガンド出力カスタム機能 | × | ○ |
| タイムシート | × | ○ |

プロフェッショナルの機能についての詳細は、別紙（プロフェッショナル用マニュアル）をご覧ください。

Net2 V4.xx 標準仕様一覧

Net2 1 door access control unit

| | |
|----------------|---|
| 電気的仕様 | |
| 電源 | DC11 ~ 14V 定格 DC12V |
| 消費電流 | 350mA |
| リレー電流 | 5A |
| リレー電圧 | DC50V |
| アラーム出力 | 1,000mA |
| 設置場所 | 屋内専用 |
| システム機能 | |
| ユーザー登録 | 共有番号 共有番号桁数 個人番号桁数 カード登録可能数 有効期限 |
| 認証方法 | カードのみ カード+番号 番号のみ カード+指紋認証 カード+顔認証 |
| リーダー取付可能数 | 最大 2 個 (インターフェース接続により最大 4 個) |
| 対応リーダー | リーダー種類 非接触型カード (Hitag2,125kHz,Mifare) 磁気カード (ISO,JIS II) 指紋認証 顔認証 テンキー Paxton 社製 P50,KP50,K50,Cardlock GIGA 社製 GP20,GP60,GP90,MF700,MSR250 *5 bioscrypt 社製 V-Pass,V-Flex *6 TOSHIBA 社製 FacePass *7 |
| リーダー信号 | ウィーガンド 26 ビット *1 または クロック & データ |
| ドア解錠時間 | 解錠時間 連続解錠 |
| タイムゾーン設定可能数 | 最大 64 種類 |
| 休日の設定 | 最大 99 日 |
| ユーザーアクセス権登録可能数 | 1 ~ 2,000 個 |
| アクセスレベル設定可能数 | 最大 250 種類 |
| オペレーター | 登録数 権限 |
| ACU 履歴保存件数 | 約 2,300 件 (保存件数を超過した場合、古い順に削除) |
| データ保護内蔵電池 | 約 12 時間 *3 |
| こじ開け機能 | 可能 |
| 閉め忘れ機能 | 可能 |
| 退出ボタン | 可能 |
| ドア開閉信号入力 | 可能 |
| アラーム / ベル出力 | 可能 |
| リレー出力数 | 2 個 (Relay1/Relay2) |
| PSU 入力 | 可能 |
| タンパー入力 | 可能 |
| 履歴 | リアルタイム表示 表示内容 表示件数 閲覧期間 |
| ドア状態表示 | 扉閉閉 / 警備状態表示 |
| グラフィック表示 | JPG 形式、BMP 形式画像取込 / 表示可能 |
| インポート | Unicode テキストファイル形式 (タブ区切り) |
| エクスポート | CSV ファイル形式 |
| バックアップ | バックアップ時間設定 保存先指定 システムデータ イベントデータ データベース |
| レポート出力 | 部・課 / ユーザー / 期間 / 月 / 日 で指定可能 |
| 配線 | |
| リーダー延長ケーブル | Belden9540 相当品 |
| ネットワーク | ケーブルタイプ 延長 ACU-ACU 間 ACU-PC 間 接続コントローラー数 |
| TCP/IP | 可能 (最大 16 台) |
| 寸法 | |
| 幅 (W) | 102mm |
| 高さ (H) | 116mm |
| 奥行き (D) | 30mm |

- *1 オプションでウィーガンドカスタム機能があるが、日本ではサポート対象外
- *2 オペレーターはパスワードでの管理。パスワード使用文字は半角英数字のみ。
- *3 電池は消耗品であるため、寿命に関しては保障対象外。また、24 時間充電後の時間とする。
- *4 イベントの表示件数は PC のスペック、システムの規模、使用頻度により調整が必要です。
- *5 MSR250 の接続には別途インターフェース基盤が必要です。
- *6 V-Flex の接続には別途インターフェース基盤が必要です。
- *7 FacePass の接続には別途インターフェース基盤が必要です。
- *8 システム運用時から、バックアップファイルを正常に保存している場合に限り。ハードディスクのクラッシュ等によるデータの消失は対象外です。また、ハードディスクのクラッシュ等によるデータの消失の責任は負いません。
- *9 最大で 7 つまで分けられます。ご使用のバージョンや設定によって異なりますのでご注意ください。

Net2 485 TCP/IP ethernet interface

| | |
|-----------------------------|------------------------|
| ネットワーク情報 | |
| RS485 ネットワークスピード | 115.2kbps |
| イーサネット・ネットワークスピード | 10Mbps *1 |
| イーサネット接続タイプ | 10baseT |
| Ethernet bandwidth required | 9 ~ 200kbps 定格 115kbps |
| DHCP サポート | Yes (V3.27 以降) |
| 寸法 | |
| 幅 (W) | 170mm |
| 高さ (H) | 175mm |
| 奥行き (D) | 40mm |

*1 設置環境により異なります。詳細はご相談ください。

Net2 スタンダード / プロフェッショナルソフトウェア

| | |
|------------------|---|
| 最小スペック | |
| OS | Windows 2000 (SP4), XP (SP1), Server 2003 |
| CPU | Intel Pentium 2GHz |
| RAM | 1GB |
| HDD 空容量 | 5GB |
| モニター解像度 | 256 色 800 x 600 |
| 通信ポート / イーサネット環境 | 有り |
| CD-ROM ドライブ | インストール時に必要 |
| 管理者権限 | インストール時に必要 |
| ブラウザ | Internet Explorer 5 以上 |
| インターネット接続環境 | 有り (推奨) |

注意：PC スペックはあくまでも最小スペックです。上記スペックで全て動作するとは限りません。設置台数が増加するに従い、また、設置環境により異なります。詳細についてはご相談ください。

Net2 ソフトウェア機能

| | スタンダード | プロフェッショナル | 備考 |
|--------------|--------|-----------|-----------|
| 200 ドア | ○ | ○ | 1 ポートあたり |
| 10,000 ユーザー | ○ | ○ | カード番号登録枚数 |
| ワークステーション | ○ | ○ | クライアント *1 |
| 複数通信ポート | ○ | ○ | |
| LAN/WAN | ○ | ○ | |
| IP カメラ | ○ | ○ | |
| 侵入アラーム | ○ | ○ | *2、3 |
| グラフィック表示 | ○ | ○ | |
| トリガー & アクション | ○ | ○ | *6 |
| Milestone 連動 | ○ | ○ | |
| 火報アラーム | × | ○ | *2 |
| 一斉解錠 | × | ○ | |
| アンチパスバック | × | ○ | *4 |
| 勤務管理 | × | ○ | *5 |

- *1. ワークステーション (クライアント) は最大 5 台までです。
- *2. 火報アラームと侵入アラームは同時使用出来ません。
- *3. 侵入アラーム機能は外部機械警備と連動させる場合、機械警備機器から入出力信号をコントローラーに接続する必要があります。機械警備用インターフェースを使用すれば、外部機械警備との信号のやり取りを行わなくても、機械警備と同じ機能を使用することが出来ます。
- *4. アンチパスバックは使用に制約があり、すべてに対応できるとは限りません。
- *5. 勤務管理機能は英国で開発されたため、日本の勤怠管理とは大きく異なります。
- *6. トリガー & アクションを使用するには、別途 Paxton I/O ボードが必要です。

参考資料

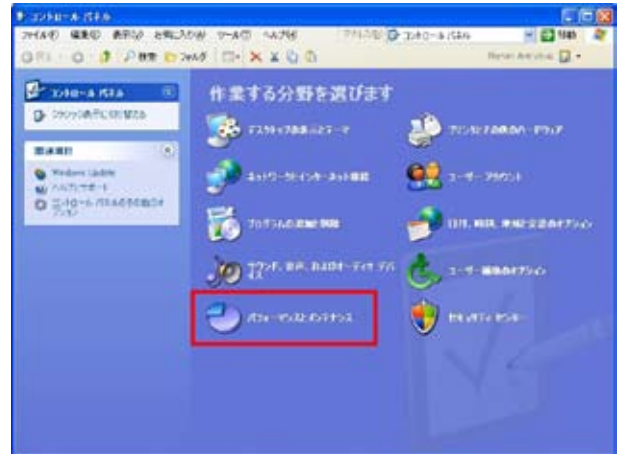
重要なファイルやフォルダをバックアップする

ご注意：下記のバックアップ方法は Windows XP Professional にのみ対応しております。Windows2000、2003Server、XP HomeEditio につきましては、別途 Microsoft 社のホームページ等で手順をご確認ください。

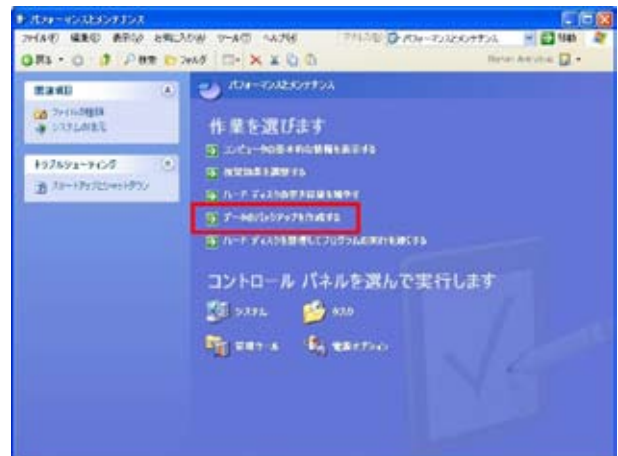
1、スタートボタンからコントロールパネルを開く



2、パフォーマンスとメンテナンスを開く



3、データのバックアップを作成するをクリック



4、バックアップまたは復元ウィザードを開始する



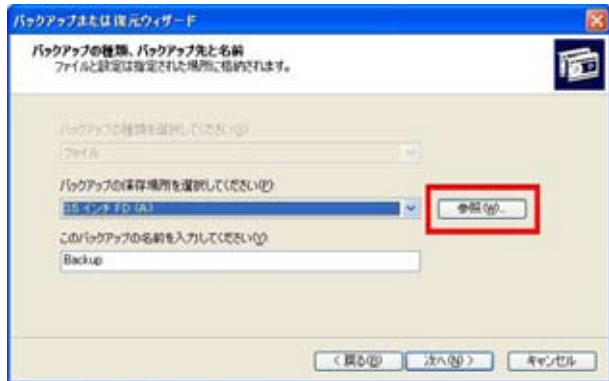
5、ファイルと設定のバックアップを作成するをクリック



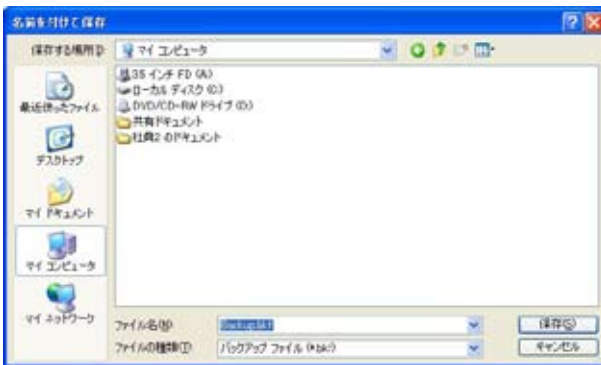
6、バックアップする項目を選択してください
 ここでは、例としてマイドキュメントと設定を選択します。



7、保存先の指定
 参照をクリックしてください。



8、バックアップの保存先を指定してください
 バックアップファイルに名前を入力してください。



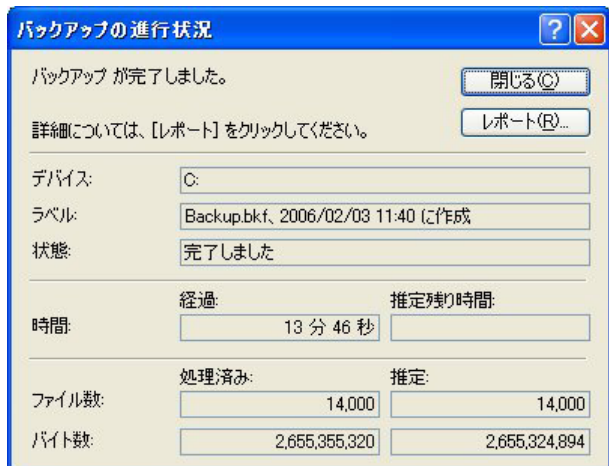
9、バックアップの保存先と名前を確認してください



10、バックアップ・ウィザードを完了する



11、バックアップが始まります

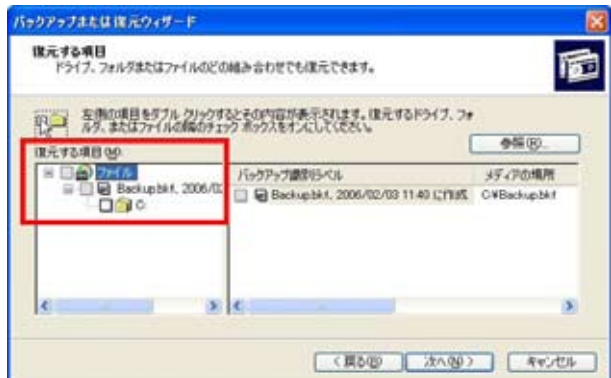


バックアップからファイルやフォルダを復元する

1、バックアップまたは復元ウィザードを開始する
ファイルと設定を復元するを選択してください。

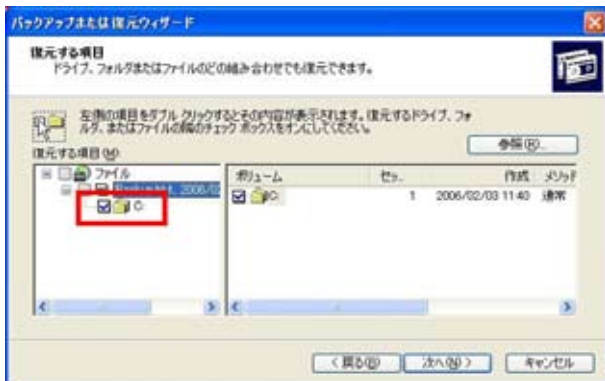


2、復元する項目の表示



3、復元する項目の選択

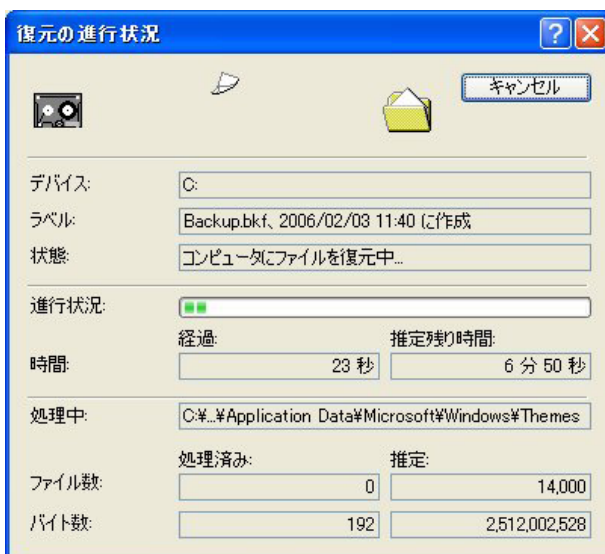
復元したい項目にチェックマークを入れてください。



4、バックアップまたは復元ウィザードを完了する



5、進行状況が表示されます



復元が完了したら、ウィンドウを閉じてください。

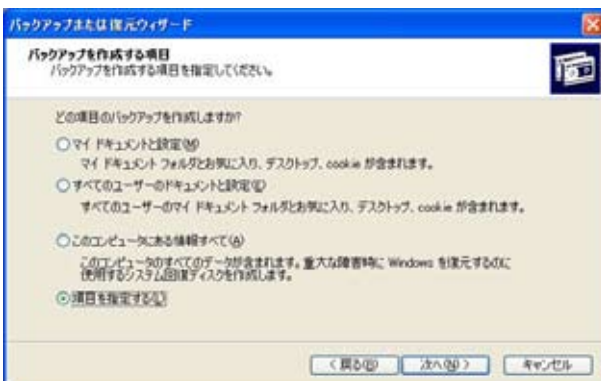
注意：バックアップ・復元に関して記述は、あくまでも参考のために提供する情報であり、この情報をもとに使用・使用結果については状況のいかんにかかわらず、いかなる保証もありません。使用者の責任の範囲内で行ってください。

タスクスケジューラーを使用してのバックアップ設定

1. 管理者としてログオンします。
2. 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「アクセサリ」 → 「システムツール」 → 「バックアップ」の順に開きます。
3. ウィザードが開始されますので、指示に従い選択してください。



4. 「次へ」をクリックしてください。
5. 「ファイルと設定のバックアップを作成する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
6. 「項目を指定する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

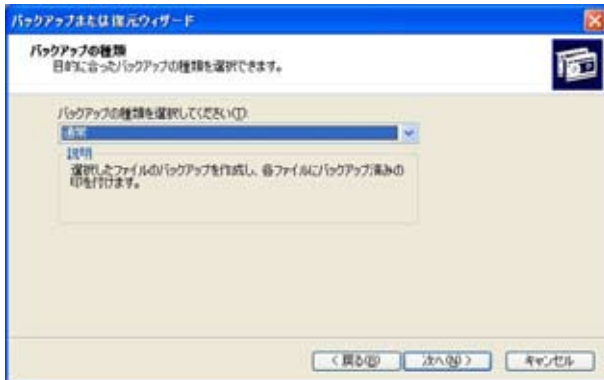


7. バックアップするファイルまたはフォルダを指定します。Net2 フォルダをバックアップするには、Cドライブ直下の「Net2 Access Control」フォルダを指定してください。選択したら、「次へ」をクリックしてください。
8. バックアップファイルの保存先と名前を入力してください。入力したら、「次へ」をクリックしてください。



9. 完了の画面が表示されますが、バックアップを行う時間の指定をします。「詳細設定」をクリックしてください。

10. バックアップの種類を選択してください。選択しましたら、「次へ」をクリックしてください。



11. バックアップの方法を選択してください。選択しましたら、「次へ」をクリックしてください。

12. バックアップのオプションを選択してください。選択しましたら、「次へ」をクリックしてください。



13. バックアップを作成する時刻を設定します。「後で実行」を選択してください。「ジョブ名」を入力し、「スケジュールの設定」をクリックしてください。

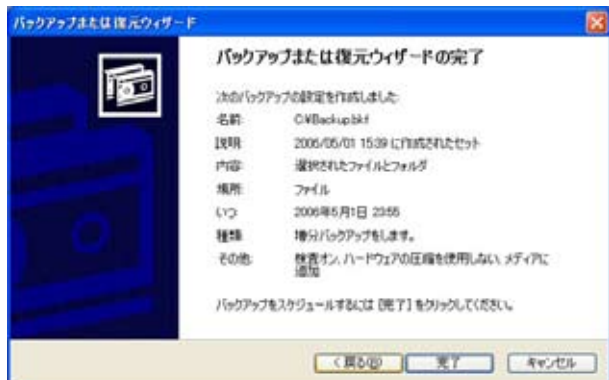
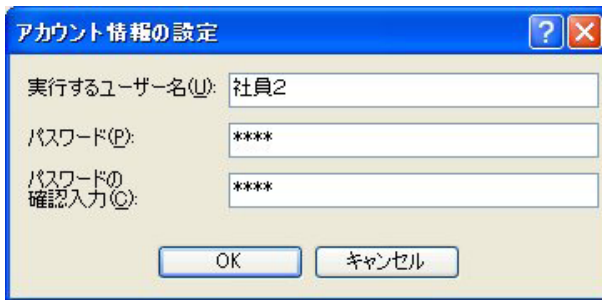
14. スケジュールの設定を行います。

例えば、毎日 23 : 55 にバックアップを行いたい場合、「タスクのスケジュール」を日単位、「開始時刻」を 23 : 55、「間隔」を 1 日に 1 回に設定します。



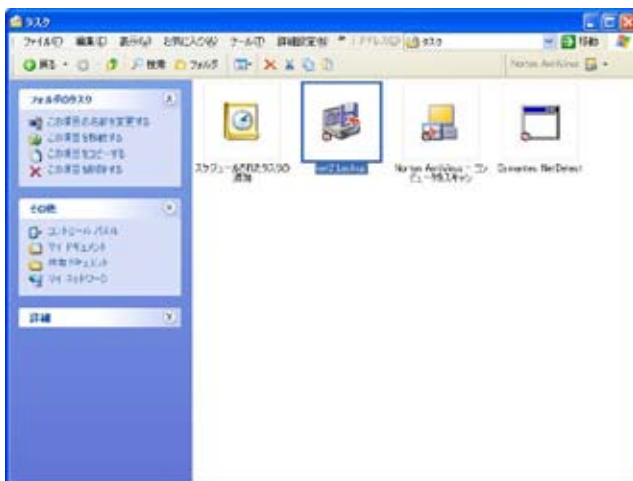
15. 「設定」タブを選択すると、「スケジュールされたタスクの完了」「アイドル時」「電源の管理」の設定を行うことができます。設定が終了しましたら、「OK」をクリックしてください。

16. アカウント情報を入力してください。「ユーザー名」と「パスワード」が必要です。入力したら、「OK」をクリックしてください。



17. ウィザードの完了画面に戻ります。「完了」をクリックして作業を終了させてください。

18. 正常にタスクスケジューラを作成出来たか確認をしてください。「スタート」→「コントロールパネル」→「タスク」の順に開き、先ほど作成したタスクが表示されるか確認してください。



19. 以上で設定は終了です。実際に運用し、タスクが正常に作動すること、バックアップが取れていることを確認してください。また、定期的に設定を確認し、タスクが正常に機能していることを確認してください。

ご注意：参考資料としてご紹介したバックアップ方法は Microsoft 社の提供する情報を元に作成しております。バックアップ方法は Windows XP Professional にのみ対応しております。Windows2000、2003Server、XP HomeEditio につきましては、別途 Microsoft 社のホームページ等で手順をご確認ください。また、これらの記述は記述は、あくまでも参考のために提供する情報であり、この情報をもとに使用・使用結果については状況のいかんにかかわらず、いかなる保証もありません。使用者の責任の範囲内で行ってください。



株式会社ケーティーワークショップ

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-31-7 イデアネックス第1ビル 2F
TEL : 03-5491-5720 FAX : 03-5491-0572
<http://www.kt-workshop.co.jp>